

いわて多文化子どもの 学習支援ハンドブック



(財)岩手県国際交流協会

いわて多文化子どもの学習支援ハンドブック制作委員会

平成 19 年度自治体国際化協会助成事業

岩手の多文化の子どもたち

ーその背景と子どもの学習に向けてー



はじめに

ある日、日本語のわからない子どもが突然教室にやってくる…、一昔前には考えられなかったことです。しかし今では県内どの地域でも、外国で生まれ育った子どもたちが、家族の来日に伴っていつやって来てもおかしくない状況にあります。日本語がまったくわからない、友だちがなかなかできない、日本語はうまいのに授業についてこれない…、さまざまな子どもたちがいますが、そんな子どもたちにどのように対応したらいいのでしょうか。このハンドブックでは、外国から来た子どもたちやその保護者に対して、どのように対応するのか、いくつかの例を交えながらその方法を示しました。まず、次の Q&A で子どもたちの来日した背景や、子どもに対応するときの留意点などをご覧ください。

Q1：なぜ、子どもたちは岩手にやってきたの？

岩手にやってくる子どもたちには、母親が日本人と結婚して呼び寄せられた子、日本に働きに来ている日系南米人の子、親が留学や研究等で日本に来たために一緒に連れて来られた子などがいます。中でも、婚姻した母親に呼び寄せられて中国からやってくる子どもが県内で増えています。また、日系の方々はよりよい職場を求めて頻繁に移動することが多いため、一箇所の滞在期間が短くなりがちです。そのため、子どもたちも新しく入った学校に慣れる暇もなく、転入転出を繰り返し、落ち着いて学習できない環境におかれることがあります。いずれにしても、子どもは自分の意思で日本にやってきたのではないため、何か問題にぶつかると、「なぜ自分は日本にいないかならなければならないのか」、「国に帰りたい」、と考えがちで、時には自己否定的な精神状態に陥ってしまう子どもも少なくありません。このような子どもには家族だけでなく、学校や地域など周囲がサポートし、子どもの居場所を作っていくことが大切です。

Q2：外国からやってきた子どもたちは学校に行く義務があるの？

日本国籍がある場合には、小中学校は義務教育ですが、外国籍の場合には日本の学校教育を受けさせる義務はありません。しかし、国籍や在留資格にかかわらず子どもは教育を受ける権利を持っています。子ども自身や保護者が就学を希望する場合には、学校は教育の機会を保障する必要があります。市町村の教育委員会からは通常、就学年齢に達した外国籍の子どもたちにも就学案内が送付されます。また、在留資格のない子どもにも学校に行く権利がありますので、就学させるように保護者に働きかけていかなければなりません。岩手には外国人学校がないため、日本の学校に行く以外に学校教育を受ける機会はありません。教育を受けない子どもを作らないよう、地域全体で対応すべきです。

Q3：子どもの行く学校やクラスはどうやって決まるの？

子どもが学校に行くことが決まると、市町村の教育委員会が校長に受け入れの打診をします。それを受けて、校長が入学を許可することになります。通常は住所のある学区の学校に入り、年齢相当の学年に在籍させます。ただし、外国籍等の子どもたちを多く受け入れている学校や、外国人児童生徒（日本語指導）担当教員を配置している学校が市町村にある場合には、そちらに入ることを勧められることもあります。岩手では、2007 年度には、盛岡市立上田小学校、一関市立山目小学校、矢巾町立煙山小学校の3校に日本語指導担当教員が配置されています。自宅から離れた学校に通うことになる場合には通学の距離や時間、送迎の都合などを考慮して、無理のないように決める必要があります。学期途中で編入するときや、最終学年の場合には、日本語習得にかかる時間と教科学習の進み方を考えて、1 学年下げて編入させることも検討します。

Q4：日本語がわからない子どもが入ってきたらどうしたらいいの？

初めて受け入れる学校では「ことばがわからないのに、学校にいさせることができるのだろうか」と不安を感じると思います。そんなときには、学校だけで孤立せず、教育委員会や国際交流協会、大学などにぜひ相談をしてください。

日本語初期指導はできるだけ早く始めることが望ましいです。ただし、外国語あるいは第二言語としての日本語教育は、母語教育としての国語教育とはかなり異なるものですので、小学校の国語の教科書で国語と同じように指導をすることは避けてください。子どもたちにとって、日本語は外国語ですので、外国人の子どものための日本語教材などを使って指導を進めます。子どもの年齢によって指導方法もさまざまありますので、できれば、日本語教育の経験のある方の協力を得てください。ただ、日本語がある程度できるまではクラスに入ることは無理だということはありません。体育や音楽などの実技科目や給食、掃除などはクラスで一緒に過ごすようにすると、子どもたち同士の交流が生まれ早く慣れることができます。

また、日常会話はすぐに覚えますので、ことばについてはあまり問題がないように見えますが、実は学習言語の習得はそれほど簡単ではありません。日本語が上手なのに学習がうまく進まないという場合、学習言語の習得が進んでいない可能性がありますので、更に個別に日本語指導が必要です。人材や教材などの情報は教育委員会、国際交流協会、大学などに問い合わせてください。

Q5：日本語がわからない子どもや保護者とやりとりする方法は？

子どもや保護者とは、できれば通訳を介して面接を行い、情報のやり取りをします。通訳の確保が難しい場合には、翻訳された資料や単語リストなどを使ってわかりやすく話します。外国人集住地区の教育委員会などが学校通知の翻訳例集などを Web 上で公開していますので、それを活用することができます。

Q6：子どもが問題を起こしたらどうしたらいいの？

子どもはことばもわからず慣れない環境におかれ、相当なストレスの中で生活しています。そのため、自分のことをうまく表現できずに、周囲に対して暴力的になったり、身体的に不調を訴えたりすることがあります。このような問題行動が起こったときは、一方的にしかったり、突き放すようなことをせずに、できれば通訳などを介して落ち着いて子どもの話を聞くようにします。また、日ごろからまめに声をかけ、面倒見のいい子どもと一緒に行動するよう促すなど、子どもが学校に居場所を感じられるように配慮します。

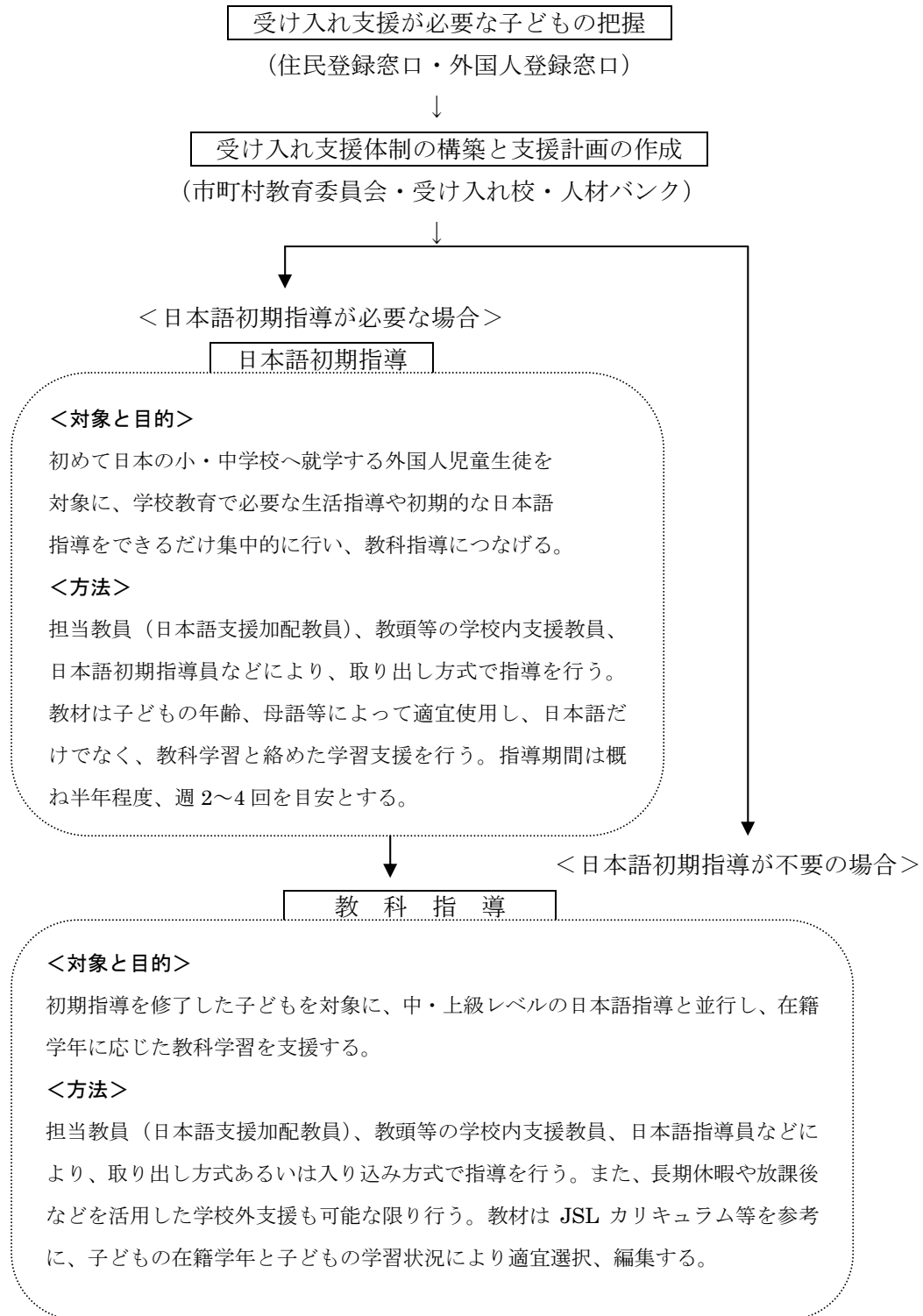
Q7：すぐ帰国する子どもには日本語指導は必要ないの？

子どもは日々成長します。たとえ半年でも 1 年でも、学習は進めていく必要があります。日本の学校で学習するためには日本語学習は不可欠です。ただし、帰国の予定が半年以内に確定している場合、特に非漢字圏出身の子どもは漢字学習に時間がかかるため、読み書きの習得にあまり時間をかけられません。母語を活用して学習を進める方法などを保護者と一緒に検討します。

Q8：母語の学習は必要なの？

子どもは 10 歳～12 歳ごろに基礎的な言語能力を築くと言われています。中学生ではほぼ基礎的な言語力は完成していますので、中学生以上の子どもの場合、母語を活用しながら教科学習をすることによって、学習内容の理解が深まります。また、母語は子どもと親とのつながりを認識するために必要なものです。親子のコミュニケーションを保つために、子どものアイデンティティーを確立するために、母語の学習は軽んじてはならないものです。ただし、そのためには保護者の意識、努力と周囲の理解が不可欠ですし、子ども自身にも 2 つの言語の学習をさせるための負担や覚悟が求められます。子ども自身が母語に接触する機会をさまざまな形で確保できるよう、環境をつくるのが大切です。

多文化の子どもの受け入れ手順



多文化の子どもが来たとき

—受け入れ時にすること—



1. 子どもの情報収集と学校情報の提供（受入れ面接）

子どもが学校に転入学することが決まったら、学校についての情報を子どもと保護者に伝え、また、子どもの情報を学校や支援者が把握することが大切です。これは日本人の子どもが転入学する際も同じですが、ことばや文化、習慣の異なる外国から来た子どもの場合、留意すべきことがいくつかあります。まず、大切なことは、学校や支援者と保護者が情報を正確にやり取りすることです。そのためには、必要に応じて、通訳をつける、対訳リストを見ながら確認する、翻訳した書類を使う、などの対応が不可欠です。ことばの問題だけでなく、文化、習慣が異なるために、お互いになかなか理解できないことがあるかもしれません。学校教育上、保護者や子ども自身に理解してもらう必要のある事柄もありますし、日本人とは異なる対応をして子どもの持つ文化、習慣を尊重すべき事柄もあります。いずれにしても相互に十分話し合っただけで納得することは子どもが学校生活を送る上でとても大切なことです。以下に、子どもの情報を把握する項目の例と、学校についての情報を子どもと保護者に伝える項目例を示します。

（１） 個人カードを作成する（子どもの状況を把握する）

子どもが日本でどのような環境におかれているのか、子どもはどのような性格か、これまでどのような学習をしてきたか、学校に望むことは何か、本人や保護者は将来の進路をどのように考えているのかなど、学校や支援者が知ることによって、子どもの状態に応じた指導、支援活動を円滑に行うことができます。日本人同士が無意識に共有している「常識」や、「当たり前」と考えていることが、文化の異なる子どもには伝わりにくいことがあります。私たちは外国から来た子どもたちや保護者と対話しているとき伝わらないことが起きると、「ことばがわからないせいで」と考えがちですが、当たり前だと思っていることがずれているために伝わらないことも少なくありません。何が伝わりにくいのか、どうしたら伝えやすくできるか、子どもの置かれた状況や子ども自身の特性を理解しておくことで、対応できることは多くなります。

具体的には次に示した個人調査票の例を参照してください。なお、この中に「日本語能力」を記入する項目がありますが、1；まったくできない、2；不十分、3；だいたいできる、4；問題ない、の4段階ぐらいで大まかに把握しておくだけで十分です。最初の面接の際には「話す」、「聞く」の2技能について子どもとのやり取りからだいたい把握します。「読む」、「書く」の力は、面接時に簡単な文章を読ませたり、自己紹介文などを書かせたりしてチェックすることができます。日本語を学習している途中なら外国人向けの日本語教材から文章を選ぶのが適当です。小学校1年生用の国語の教科書等は母語話者にとってはやさしく見えますが、文型が複雑なものもあるので避けたほうが無難です。

*神戸大学発達科学部附属住吉校国際教育センターでは「日本語力判定基準法」を公開していますので、参照してください。

(<http://www.f-sumiyoshi.com/testcard.asp>)

< 個人調査票例 >

名前（現地表記・日本語表記） 呼称（家族や友だちからの呼ばれ方）								
来 日 時 期 * 出入国を繰り返している場合は、その履歴	初来日	年	月	(	年	月	帰国)	
	2 回目	年	月	(	年	月	帰国)	
	3 回目	年	月	(	年	月	帰国)	
編入学前に受けた教育や学習状況 (来日前、来日後も含む)								
日本語学習歴 (期間、機関、教材など)								
日本語能力	読		書		聞		話	
話すことば（母語・使用言語など）								
本人の性格								
健康状態（持病や食物アレルギーなど）								
食べ物の好き嫌い (宗教上の制限等も含む)								
趣味や特技、得意科目								
宗教上のことなどで禁忌（タブー）と されていることなど								
将来の進路希望 (日本で高校や大学などへの進学を考えているか)								

家庭環境 (家族関係、保護者の職業、 同校に通学する兄弟姉妹の学年など)	
保護者名 (国籍)	
保護者の来日目的 (就労等)	
滞在経歴、在留予定期間	
保護者の日本語能力	
保護者の教育に対する考えや 学校に対する要望	
住所、連絡方法 自宅・携帯の電話番号、 緊急時の連絡先、勤務先、 通訳など	
学校から自宅までの地図と通学手段	

（２）学校の概要や教育方針、学校生活などの情報を伝える

保護者や本人に、学校生活についてできるだけ具体的に情報を伝えます。学校の様子は国や地域によって大きな違いがありますので、一つ一つ確認しながら説明を進める必要があります。清掃や給食、弁当などは、そのような習慣のないところから来た場合、はじめは理解されにくいようです。これらの活動は教育活動の一環だということを伝え、理解を得ることが大切です。ただし、宗教や慣習上、参加が難しい活動や制限される活動もありますので、その理由を理解した上で、保護者や本人とよく話し合って参加について決める必要があります。また、教師と生徒、保護者との関係も国や地域によって異なることがありますし、制服、時刻に対する考え方、宿題やテスト、評価の仕方なども異なります。一度にすべてを伝えても理解してもらうのは無理ですが、まず概要を初めに伝え、自国の教育とは違いがあるということに気づいてもらうことが大切です。あとは具体的な活動の都度、更に説明を加えることが重要です。さまざまな違いがあることを認識していなかったり、誤解に気づかないままやり過すと、問題が複雑になり、感情的に対立してしまうことにもつながりかねませんので、注意が必要です。いずれにしても、最初から何もかも日本人と同じようにするよう無理強いせず、時間をかけて対応することが最も重要なことです。

次に示した説明項目を参考にして、チェックリストを作ると便利です。できれば、英語、中国語、ポルトガル語など本人や保護者が理解できる言語に翻訳された説明を本人と保護者に渡せるようにするといいいでしょう。参考になる書籍、資料として次のようなものがありますので、ご覧ください。

【学校情報を伝えるための参考文献】

『ようこそ日本の学校へ 日本語指導が必要な外国人児童生徒の指導資料』（ぎょうせい）

＊外国人児童生徒を受け入れる際の留意事項をまとめた教師用指導資料です。

「外国人児童生徒のための就学ガイドブック」（文部科学省）

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/001.htm#a10

＊英、韓国朝鮮、中、西、ポルトガル、ヴェトナム、フィリピノの各言語版があります。

「豊橋市教育委員会外国人児童生徒教育資料」<http://www.gaikoku.toyohashi.ed.jp/>

＊特にブラジル人児童生徒に対するポルトガル語対訳資料が豊富にあります。

「中国人と小学校教師のための学校生活まるとガイド」中国語訳つき（スリーエーネットワーク）

「ブラジル人と小学校教師のための学校生活まるとガイド」ポルトガル語訳つき（同上）

＊具体的に日本の小学校の様子を伝え不安や疑問を軽減するための情報が豊富です。

＜学校生活の説明リスト例＞

項 目	説 明 等
学校概要	・ 学校の教育方針、目標などについて簡潔に説明する
学校の日	・ 始業終業時刻、ホームルーム、学活、休憩時間、授業時間割、昼食、清掃、部活動など1日のスケジュール ・ 登下校時刻を正確に伝え、守ること ・ 遅刻、欠席、早退のときは保護者から学校に連絡すること ・ 給食や清掃、課題活動などは教育活動の一環であることを伝え、参加に理解を求める。宗教、慣習上、参加が難しい活動は保護者と話し合いの上、決める。(例；イスラム教徒は肉料理の食事に制限がある)
学校の一年	・ 学期の区切り、長期休暇、年間の主な行事 ・ 保護者が協力、参加する行事 ・ 遠足、修学旅行などは大切な教育活動の一環であることへの理解を求める ・ 宗教、慣習上、参加が難しい行事、活動がある場合には保護者と相談の上、参加の可否や条件などを決める(例：イスラム教徒の場合、女性は人前で肌を見せられないため、水泳には参加できない)
教科書、持ち物	・ 義務教育では教科書は無償、副教材、給食は有償であること ・ 準備しなければならない学用品、通学時の服装や体操服など学校生活を送るために必要なものを、現物を見せて詳細に説明 ・ 学校に持ってきてはいけないもの(菓子類など)の説明
学校の決まり	・ 学校ではいけないこと、しなければならない規則の説明 (特に装飾品、服装、髪型などの規則は国によって異なるため要注意)
通学路や通学方法	・ 居住地からの通学方法と通学路の確認(勝手に通学路や通学手段を変えることはできないことを説明する) ・ 集団登下校の場合は、その意義や方法について
必要経費や集金方法	・ 給食費や教材費など毎月の必要経費 ・ PTA の存在と会費の使い方と意義 ・ 上記の集金方法や集金日についての説明(振替口座をつくってもらうことなど)
家庭と学校との連絡方法	・ 学級懇談会や授業参観、家庭訪問について(保護者が児童生徒の学校生活を把握する機会) ・ 遅刻、欠席の連絡や教育相談を受けたい場合の連絡方法など
トイレの使い方	・ 和式のトイレの場合、使用方法の説明
就学援助について	・ 就学援助についての情報

2. 受け入れ体制作りと初期指導

(1) 保護者への働きかけ

- ① 子どもがこれからいつ、どこで、どのように、だれと、どんな学習を進めるかおおまかに伝えます。(日本語初期指導の計画、授業外支援、学外支援の計画など)
- ② 保護者と連絡ノートや電話などで情報交換を継続させる方法を決めます。
- ③ 特別な学校行事があるときは内容や方法などをできるだけ通訳、翻訳などを使って保護者に伝え、理解を求めます。
- ④ 日本語のわからない保護者にはできるだけ母語で伝えます。母語が無理な場合には、簡潔な日本語や母語以外に保護者が理解できる言語で伝えるようにします。特に大事なことや複雑な説明の必要な場合は、母語で直接保護者に伝えるようにします。文書がある場合には読み仮名をつけると辞書で調べるとき便利です。

* 小牧市外国人児童生徒教育連絡協議会翻訳文書には、英、中、西、ポルトガル、フィリピン語などの学校通知例文が掲載されていますので参考にしてください。

<http://www.komaki-aic.ed.jp/komeno-e/gaikoku/index.htm>

(2) 対外的働きかけ

- ① 市町村教育委員会に日本語初期指導や通訳の人材について情報を求めます。また、財政的な支援が受けられるかどうかにも相談します。あきらめないで交渉してください。
- ② 子どもたちや保護者の相談対応や通訳、中期以降の日本語および教科学習支援についても、市町教育委員会や市町村の国際交流担当窓口等に相談し、協力を呼びかけます。学校が孤立することなく、できるだけ多くの機関や関係者が課題を共有し、連携して指導、支援に当たることが大切です。
- ③ 必要に応じて、町内会など地域社会の組織に外国から来た子どもたちの存在について知らせ、理解と協力を求めます。

* (財) 岩手県国際交流協会では、外国人相談窓口を設置し、さまざまな相談に応じています。

<http://www.iwate-ia.or.jp/index.htm>

(3) 校内体制づくり

- ① 担任や指導担当者だけでなく、学校全体で子どもを受け入れるため、職員会議等で連携体制を整え、教職員に対する情報提供を行います。
- ② 一般に会話言語は1～2年程度、学習言語は5～7年かけて習得するといわれています。このギャップが“日本語は堪能なのにテストの点が悪い”というような形で現れ、“学力が低い”といった誤解につながる場合があります。子どもの理解力や学習の進捗状況を注意深く見守り、外部の協力も得て継続的な支援をします。
- ③ 外国人であることを理由にした、いじめや差別には速やかに対応し、再発を防ぎます。
- ④ 良いところはみんなの前でほめ、注意するときは個別指導をします。特に、子ども同士の人間関係ができるまでの間に、文化の違いなどが原因となってしまうさまざまな問題行動が起こる可能性があります。問題が起こったときには、一方的に責めることはせずに状況をよく見極めて対応します。理解できないことがあるときは、国際交流協会、大学などに相談してください。
- ⑤ 個別に説明する時は、ゆっくり、はっきり話します。実物や絵も使って話をします。
(中学校で学ぶ英語程度で理解できる日本語で話してください。短い文をつなげ、段階的に説明するとわかりやすくなります。)
- ⑥ 在籍学級で子どもと共に昼食をとるなど、周囲の子どもたちの情報収集に努め、子ども同士の信頼関係を作ります。また、サポートしてくれる日本人のクラスメートを指名して、力になってもらいます。ただし、その子ども一人に任せきりにせず、担任、指導員などが常に子どもたちの状況を把握するように努めます。
- ⑦ 児童生徒が多文化の子どもの背景を理解するため、文化理解等の時間を作ります。保護者からの協力も得て、遊びや歌、踊りの紹介、簡単なことばの講座、学校の勉強の仕方の違いの紹介など、日本人の子どもたちが多文化の子どもに関心を示し、受容的な雰囲気になるようにします。
- ⑧ PTA研修などで、異文化理解のための講座などを持ち、学校だけでなく、地域全体の理解を得るようにします。その際、保護者に講師をつとめてもらうことで、保護者自身が地域社会とつながりを持てるような工夫をします。
- ⑨ 外部の相談員、通訳などの協力を得て、必要に応じて親のサポートも行います。

3. 国による学校生活のちがい

日本の学校で普段当たり前に行われている授業や行事などでも、子どもや保護者の中には「なぜ、そんなことをしなければならないのだろう」と疑問に感じることがあります。ここでは、ブラジル、中国、フィリピンを例に、基本的な違いの一例を示します。掃除や給食に戸惑ったり、学校行事に協力的ではない態度を見せたりすることがありますが、母国の学校ではそのような活動がないため、ということがあります。価値観や認識にズレがある場合には、学校の考えを一方的に押し付けるのではなく、よく話し合うことが大切です。

☆ブラジルは4・4制の小中一貫教育です。中国は5・3制と6・3制が地方によって併設されています。フィリピンは6・4制で。初等教育が義務教育です。

☆ブラジルでは午前と午後の2部制で行われていますが、一部の学校では夜間クラスもあります。フィリピンは7:30-17:00 ごろまで、中国では7:30-16:00 まで勉強します。

☆ブラジルでは子どもたちは教室の掃除をする習慣がありません。

☆ブラジルやフィリピンでは修学旅行はありません。ブラジルでは入学式などの式典はほとんどありません。

☆中国では先生は厳格で、しつけも厳しくします。

☆ブラジルでは割り算の計算の仕方が違います。中国では二桁の掛け算まで暗記します。

☆ブラジルでは芸術科目は小学校のときだけあります。長期休暇中には宿題がありません。

☆フィリピンでは、フィリピン語、方言、英語を家庭で覚えます。学校の授業は英語とフィリピン語でします。

☆ブラジルでは昼食は家で食べます。学校の休み時間にはおやつを食べることができます。フィリピンでは家からお弁当を持っています。おやつも持っていったり買ったりして、学校で食べることができます。中国ではお弁当を持っていったり学校で注文したり、給食が出ることもあります。

☆ブラジルやフィリピンでは学校に行くときもピアスやブレスレッドなどをしている問題ありません。ピアスはお守りのように考えられているところもあります。

4. 進路と学習

保護者の来日目的や生活環境等はさまざまで、これからの日本における生活の見通しも一人ひとり異なります。しかし、今後、日本で長く生活するのか、帰国予定があるのか、などに関わらず、子ども一人ひとりの学力を定着させ伸ばしていくことが大切です。そのためには保護者も含めて本人と十分な話し合いを持つことが必要です。特に、中学生には、子どもの将来の希望に十分配慮した進路指導を行います。

- ① 短期滞在や長期滞在にかかわらず、話す・聞く力だけでなく、個人に応じた教科の学力や、読み書きの能力もつけることが大切です。このことを子ども自身と保護者に伝え、母語や日本語で学習を進めるために努力することで、将来が開けることを理解してもらうことが大切です。
- ② 日本語の学習言語能力が十分ではない段階では、学習に対する自信を失ってしまうことがあります。得意な分野を伸ばすように励まし、支援することが子どもの将来につながります。一般的に国語や社会など言語の介在の度合いが高い科目は学習言語能力が育っていない段階では理解することが困難ですので、あせらずに少しずつ学習を進めるようにします。
- ③ 保護者に日本の学校制度や進路について説明をします。また、母国や日本以外の国への進路の可能性についても情報を伝えます。
- ④ 学校でうまくいかないと登校できなくなったりしますが、子どもの気持ちの揺れを理解し、子どもや保護者とよく話し合いを続けて通学できるように支援します。
- ⑤ 高校入試に関して、入試時の特別配慮や特別枠の有無などを教育委員会に問い合わせます。現在のところ、岩手県内の高校では特別配慮について明文化しているところはありませんが、個別に交渉するなどし、外国籍の卒業生、教員のネットワーク、ボランティア団体などと連携を取りながら情報収集に努めます。
- ⑥ 就職を希望する場合、日本語が不十分な生徒に特別な配慮をする企業は少ないですが、ハローワークや地元企業などに情報を求め、協力を要請します。
- ⑦ 働きながら学べる制度や奨学金制度などがあることを生徒や保護者に伝え、経済的な事情があっても学習を続けるよう励まします。

5. お役立ちサイト

① 日本語・教科教材

教 材 名	内 容	発行元
マルチメディア 「にほんごをまなぼう」	学校生活で使われる日本語をコンピュータで絵を動かしながら音声付で勉強することができる。 (ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、カンボジア語) http://www.hellonavi.com/foldera/index.html	日本語指導教材研究会（文部科学省委託）
外国人児童生徒用日本語テキスト 「たのしいがっこう」	学校生活や生活に必要な日本語を勉強するテキスト。教師用指導書もある。(中国語、スペイン語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、英語、タイ語) http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/tanoshiigakko.htm	東京都教育委員会
在日外国人児童のための教材開発プロジェクト	「在日外国人児童のための教材開発プロジェクト」にブラジル人児童向けの教材資料が整備されている。 http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/social_02.html	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター
むさしのだいすき	学習に必要なことばをクイズやゲームなどを使って覚えるアイデアが多く掲載されている。 http://www.kikokusha-center.or.jp/resource/new-resource_f.htm	武蔵野市教育委員会指導室 帰国・外国人教育相談室
はじめくんとまりちゃん のにほんごきょうしつ 1～3	小学生用の日本語教材。日常会話から授業に使われることばまで段階的に学習できる。中国帰国者智恵着促進センターのホームページ上にhtml ファイルが公開されている。 http://www.kikokusha-center.or.jp/resource/kyozai/jidoseitomuke/kyozai/hajimari1/html/	大宮市立教育研究所
「みえこさんのにほんご」	学校生活場面で役立つ日本語の基礎学習用教材。スペイン語、ポルトガル語、中国語、英語の訳付。 http://www.pref.mie.jp/gakokyo/hp/mieko_jp.pdf	三重県教育委員会小中学校教育室
KIDS WEB JAPAN	日本の文化や学校、流行について多言語で説明。 (スペイン語、韓国・朝鮮語、フランス語、ドイツ語、オランダ語、フィンランド語、スウェーデン語、アラビア語) http://web-japan.org/kidsweb/index.html	外務省
児童生徒用日本語教材	豊橋市教育委員会のHPにある日本語教材。ポルトガル語の解説がついている部分が多い。 http://www.gaikoku.toyohashi.ed.jp/nihongo/index.htm	豊橋市教育委員会

教 材 名	内 容	発行元
外国人児童生徒教育資料「対訳教材」中学数学	中学校の数学の正負の計算に関するポルトガル語対訳教材集。ブラジル人向け。 http://www.gaikoku.toyohashi.ed.jp/	豊橋市教育委員会
彩の国 「彩と武蔵の学習帳」	日本語初期指導および小中学校の国語、算数／数学、社会、理科の各教科の学習補助用教材。英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語の対訳付。 http://www2.spec.ed.jp/kokusairikai/kikoku/aya/aya01.htm	埼玉県教育委員会
FLASH 教材試作室	特別支援教育用の教材プリント集。 http://www.geocities.co.jp/NeverLand/8857/	FLASH 教材試作室
デジタル絵本サイト	世界の民話の中・英・韓・独・伊・仏・ス・インドネシア・ノルウェー、スウェーデン、アミ語訳付で読める絵本サイト。日本の民話も各国語で読める。 http://www.e-hon.jp//index.htm	国際デジタル絵本学会
先生ポータルサイト	学校用の「素材集」サイト http://www.kasugai.ed.jp/teacher-web/default.htm	春日井市教育委員会

②総合情報

サイト	内 容
文部科学省クラリネット	外国人、帰国子女の教育に関する情報 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/03082702.htm
東京学芸大学 国際教育センター	日本語指導者研修情報や、セミナー情報、リソース情報を掲載 http://crie.u-gakugei.ac.jp/
宮城教育大学 国際理解教育研究センター	センターで実施される日本語教育の研修情報などを掲載 http://koho.miyakyo-u.ac.jp/IUERC/index.html
中国帰国者 定着促進センター	「教材・論文等・参考文献」に中国語などの日本語学習教材、教科書学習用教材、学校資料などのリンクが豊富にある。 http://www.kikokusha-center.or.jp/

③学校通知文例集等（ダウンロードできるもの）

三重県教育委員会	学校連絡文例集のポルトガル語版（小中学校教育室） http://www.pref.mie.jp/KYOIKU/HP/
文部科学省 （クラリネット）	就学ガイドブック（ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、ヴェトナム語、フィリピン語、韓国・朝鮮語） http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/03082702.htm
豊橋市教育委員会	外国人児童生徒教育資料－学校行事関係の案内文、保健関係の書類（ポルトガル語、スペイン語） http://www.gaikoku.toyohashi.ed.jp
小牧市外国人児童生徒教育連絡協議会	学校通知文書（ポルトガル語、スペイン語中心。他に中国語、英語、フィリピン語） http://www.komaki-aic.ed.jp/komeno%2De/gaikoku/index.HTM
兵庫県教育委員会	学校生活ガイド （ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語） http://www.hyogo-c.ed.jp/kenshusho/lib/schoollife/index.html
浜松市教育委員会	浜松市教育ネットワーク 外国人児童生徒関係書類（ポルトガル語、スペイン語、英語、タガログ語）、一口会話集（日本語－ポルトガル語・スペイン語） http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/shikyoi/foreign/data-foreign.htm
静岡県教育委員会 西部教育事務所	学校書類翻訳（ポルトガル語、スペイン語） 川崎病のポルトガル語説明などがある。 http://www.shizuoka-c.ed.jp/seibu/gakkyou/wapos/wapos.htm
鈴鹿市教育委員会	保健関係資料（ポルトガル語、スペイン語） http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/shido/
愛知県岩倉東小学校	学校文書、保健関係資料、用語集など（ポルトガル語中心。スペイン語もある。） http://www.iwakura.ed.jp/iwakurahigashi-e/
大阪府教育委員会	帰国・渡日児童生徒学校生活サポート情報 ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語、韓国・朝鮮語、ベトナム語による児童生徒・保護者向けの学校生活についての説明、教職員向けの教材情報など http://www.pref.osaka.jp/kyoisityoson/jidoshien/shugaku/index.html

個別支援事例集

－日本語・教科学習支援のために－



個別支援事例集の読み方

このハンドブックでは、子どもたちの指導・支援活動をどのように進めるのか、「事例集」という形で「日本語初期指導編」と「教科学習支援編」の 2 つの具体例をあげて、個別学習支援活動の際に注目したいポイントをいくつか示しました。

まず、「日本語初期指導編」では、特定の子どもを想定せず、一般的な初期指導の進め方を 2 種類例示しました。日本語の指導というと小学生の国語の教科書と同様に指導するものだと思いますが、そうではありません。日本語を外国語として教えるための内容や方法は、母語としての国語教育とは大きく異なります。ですから、日本語初期指導はできれば外国語としての日本語教育の知識のある指導員が担当することが望まれます。しかし、そのような人材がいない場合は、初期指導担当者にはこのハンドブックに示した教材を勉強していただき、指導に役立ててくださることを期待します。

「教科学習支援編」では子どもの出身や学年による支援の特徴を示しました。ここにある具体例は、このハンドブックの作成メンバーが、岩手で支援活動をする中で出会った子どもたちをモデルに想定した子どもたちの指導例です（したがって、ここに登場する子どもたちは実在の人物ではありません）。ここに示した「プロフィール」は子どもを具体的に思い浮かべていただくために記述したものです。実際に指導するには前項で例示した「個別カード」（表面）をプロフィールとして活用できます。ここでは下の表にあるように小学生 3 名、中学生 3 名、計 6 名の子どもたちが登場します。事例にあげたのは教案というより、個別学習支援の進め方の一例です。個別支援では子どもの個々の反応によって、学習項目の提示の仕方、確認の方法などを調整していくことが重要です。定められた教案に従って学習項目を終わらせることに重点を置くのではなく、臨機応変に子どもの状況に対応しながら、ひとつでもふたつでもその時間に学んだ実感を持たせることが大切です。「なぜ、自分だけ特別に、他の子より余計に学習しなければならないのだろう」という不満を持たせるのではなく、少しでも学ぶおもしろさと自信につながる個別支援活動にしていきたいものです。「実況中継例」の部分をよくご覧ください。どのような日本語を使えば子どもに伝わりやすいのか、母語話者ではない子どもに伝わりやすい表現やことばの長さ、使っている語彙などに注目してください。また、それぞれの活動の意味をコメントとして吹き出し部分に書き出しました。何がわからなくて、何に躓きやすいのか、それを解消するためにどのような活動をするのか、日本人の子どもとどのような違いがあるのかを捉えるヒントにしてください。

<個別指導事例集一覧>

1. 日本語初期指導編

教材	内容	著者・発行
マルチメディア教材 『にほんごをまなぼう』	いろいろな場面でのあいさつの表現 (ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、カンボジア語の対訳が見られる)	日本語指導教材研究会(文部科学省委託)
『日本語学級2』	「～ではありません」(否定文)を使った表現	凡人社

2. 教科学習支援編

<登場する子どもたちと取り上げる教科学習例>

	子ども(年齢)	学年	科目等	内容
小学生	リタ・クロキさん(8)	2年	図工	絵の具の使い方
	徐明博君(10)	5年	理科	振り子とおもり
			社会(地理)	季節と風の動き
	ジョルジュ・ホンダ君(11)	6年	仮名と漢字	漢字と仮名
中学生	王唯君(12)	1年	英語	語彙を増やそう&名詞文
			社会(地理)	岩手県の地形の特徴
	マリア・チバさん(13)	2年	理科	顕微鏡の使い方
			英語	Magic Box
	李麗華さん(14)	2年	数学	図形の見方

* 凡 例 *

<プロフィール>の読み方

◎△□さん(○歳 女子 小学校×年在籍)

名前、年齢、性別、在籍学年
を示します

県内のどの地区に滞在しているか示します。どのような支援者が得られるかの目安です。	出身	□□□□ (△△△語)				子どもの出身地、第一言語を示します
	滞在	2ヶ月				
	居住地域	○○○地域				来日後の滞在期間を表します。初期指導の必要性など判断する目安に使います
	性格・学力等	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				
子どもの性格や第一言語での学力などを大まかに把握したものです。得意分野を伸ばすなどで支援します。	日本語力	来日直後で日本語初期指導が必要。				子どもの現在の日本語力を面接等で大体把握したものです。読む書く聞く話すの4技能は4段階で大体判断し、指導の必要性を示します。 1 = ほとんどできない 2 = 不十分 3 = だいたいできる 4 = 問題なし
		読む	書く	聞く	話す	
		1	1	1	1	
	支援者	(学校内) 日本語指導者 担任 (学校外) 日本語支援者 母語支援者 学生				
		居住地域で得られる可能性のある支援者を示します。				

<編入前対応>の読み方

対応部署	内容
市町村役場	外国人登録段階で教育委員会に連絡 通訳の手配
市町村 教育委員会	就学案内を保護者と本人に渡し、転入学手続きと 就学体制整備 通訳、日本語支援者の手配、人材バンク
受け入れ学校	三者面談 (子どもの情報収集と学校情報提供。できれば、通訳を介す) 入学手続き、教科書等の手配 カリキュラム作成と指導担当者の確定

各部署がどのような役割を担うか、具体的に示します。必要な対応を迅速に行うように連携します。

＜初期段階の指導例＞の読み方

時期	内容	素材・科目等	担当・場所
1 週目	◎学校生活に慣れる (あいさつ、教室の日本語、時間割等)	にほんごをまなぼう (オンライン教材) 日本語学級 1	日本語指導者 ・ 取り出し

利用できる教材の例です。教材リストを参照してください。

指導するタイミングを子どもの編入学後の時期で示しています

学習の内容について簡単に示しています。

誰がどこで指導するのか例を示しています

＜各教科の基本的な進め方＞の読み方

教科	内容	教材等
国語		『.....』
算数		
理科		
社会		『.....』
英語		『*****』

主要教科でそれぞれどのような指導を進めていくか示しています。子どもの日本語力や学力に応じて伸ばせる力を伸ばします。

指導を具体的にするとき役立つ教材例を示しています。教材リストを参照してください。

- ・ 日本語初期指導を週 3 ～ 4 回、3 ヶ月程度実施し、基礎的な日本語力を習得させる。
- ・ 1 年生の学習をポルトガル語で復習する機会を作る。(通信教育、母語による支援者)
- ・ できるだけ現学級で授業やクラス活動に参加させ、友人関係を作る。

指導の手順を簡単に示し、子どもにあった指導の方向性を説明しています。単に日本語ができるようになればいい、というのではなく、学習全体を段階的に支援するための注意事項です。

＜教科学習を支援するための指導案＞の読み方

指導する科目、内容は教科書に準拠したものを提示しています	科目	◆◆◆	指導にあたって準備すべき教材、教具などを示しています。
	内容		
	標	・・・・・・・・	
	間	45 分	
指導の際、母語話者でないからこそ留意すべきポイントを示しました。	準備	・・・・・・・・	使用語彙は子どもが理解したり、使えるようになることが望まれる、重要語彙です。
	使用語彙	○○○、△△・・・	
	活動の流れ	1) ・・・・・・・・ 2) ・・・・・・・・ 3) ・・・・・・	
	留意点	・・・・・・・・	指導の流れをおおよそ示しています。あくまでも目安ですので、子どもの理解に合わせて臨機応変に対応することが重要です。

＜授業の実況中継例＞の読み方

①色の名前 （絵の具一式、画用紙）

（絵の具の箱を開けて・・・）

T：リタさん、これ、何ですか。

S：？？日本語でわかりません。

T：何をするものですか。

S：絵を描きます。

T：そうですね。これは絵の具といいます。

S：えのぐ （「えのぐ」という語彙カードを絵の具箱に提示）

T：いすいろがながまじりますね。これは何のぐ？

S：赤
（同様に白）

T：リタ

S：うへ

初めに指導のトピックを示し、その後具体的なやり取りの例を見せています。
教師（支援者）＝T と、子ども＝S の表
原や内容をよく見て、ことばの長さ、使
われている語彙などを観察してくださ
い。わかりやすい日本語とはどのような
ものか想像できると思います。

この手順で使う教具等
を示しています。

重要語彙はカードにして提示
する。できればシール形式に
して、道具にはりつけていく
と、記憶を助ける。

を確認）

指導のポイントを説明し
ました。何のためにどのよ
うな指導をするのかコツ
をつかんでください。

<日本語初期指導例 その1 インターネット教材の活用>

日本語初期指導はできれば経験や知識のある人材が指導にあたることが望ましいですが、経験のない人でも比較的指導しやすい教材としてインターネット上にある日本語教材を紹介します。この教材は主に小学生を対象としていますので中学生には少し子どもっぽいという印象をもたれるかもしれませんが、基本的なあいさつや学校の中の様子は小学校、中学校に共通するものが多いので、うまく活用してください。自習用としても使えます。

素 材	マルチメディア教材 「にほんごをまなぼう」
学習内容	日常のあいさつなど
時 間	45 分
準 備	コンピュータ（インターネット接続） マルチメディア教材「にほんごをまなぼう」 http://www.hellonavi.com/foldera/index.html 『にほんごをまなぼう』（文化庁）
使用語彙	おはよう おはようございます こんにちは こんばんは さようなら ありがとう ありがとうございます ごめんなさい きりつ れい ちゃくせき はい しつれいします しつれいしました いただきます ごちそうさま
活動の流れ	1)マルチメディア教材「にほんごをまなぼう」で、あいさつ等の表現を聞き、母語バージョンで意味を確かめる 2) 支援者が絵カード、状況カード等で実場面に合わせた練習をする
留意点	- 文法的を詳説するより、表現を丸ごと覚えて、すぐ反応できるよう促す。 - コンピューター上で表現を覚えた後は、画面を離れて現実の学校生活で接触する人とのあいさつを想定させ練習する。 - コンピューター環境が整わない場合には、書籍版も販売されている。 - 中学生に活用するときは、絵や場面が子どもっぽく感じられることがある。表現を大体理解したら、コンピューターを離れてカード等で練習をする。

<実況中継例>

①マルチメディア教材「にほんごをまなぼう」を使う

T: 見てください。

(マウスを操作し、画面を提示する)

(教材からの音声)「オリベイラくん おはよう」「さとうさん、おはよう」

T: 見てください。←母語で意味を提示

S: ああ!

T: そうです。おはよう。←発音するよう促す

S: おはよう。

T: おはよう。

S: おはよう。

T: はい。いいですね。じゃ、次の絵です。(先生にあいさつする場面)

(教材からの音声)「せんせい、おはようございます」

T: おはようございます。

S: おはようございます。

T: そうそう。←子どもの絵カードと先生の絵カードを数パターンずつ提示

(先生のカードを見せながら) おはようございます。

(子どものカードを見せながら) おはよう。←これを数パターンくりかえす

じゃ、これは?←先生のカードを見せる

S: おはようございます。

T: はい。いいです。じゃ、これは?←子どものカードを見せる

S: おはよう。

T: はい。いいです。じゃ、わたしは?

S: おはようございます。

T: はい。おはよう。

(以下、「こんにちは」「こんばんは」「さようなら」「ごめん」…等も同様)

絵カードを使ってゲーム感覚で
「おはよう」と「おはようございます」
の違いを理解させる

②練習

<準備するもの>

- * 学校教職員やクラスメートの顔写真数枚
- * 朝のシーン、昼のシーン、夜のシーン、帰りのシーンの状況カード
- * ぶつかったシーン、花瓶を落として割ってしまったシーンの状況カード
- * 給食を食べる前のシーン、給食を食べ終わったシーンの状況カード

T: じゃ、あいさつしましょう。←朝の絵と校長先生の写真を提示する

おはようございます。

S: おはようございます。

T: じゃあ、これは?←朝の絵とクラスメートの写真を提示する

S: おはようございます?

T: ん? これはクラスメート。朋友。クラスメートの高橋さんです。

S: ああ! おはよう。

T: じゃ、次は… (ぶつかったシーンと校長先生の写真を提示する) これは?

S: ん〜…、ごめんなさい!

T: そうです!

(いくつかのカードの組み合わせを提示し、あいさつ表現を復習する)

T: じゃあ、ここから1枚、ここから1枚、カードを取ってください。

(裏返した顔写真の塊と絵カードの塊から1枚ずつ引かせる)

S: (先生と帰りのシーン) さようなら!

T: はい、いいです!

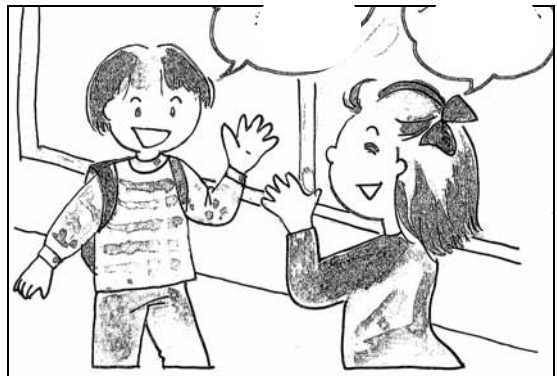
(同じようにカードを引いて、相手とシーンによってあいさつが適切にできるように練習)

<状況カード例>

【花瓶を落とす】



【朝の学校】



<人物カード例>

【校長先生】



【鈴木先生】



【高橋明子さん】



<日本語初期指導例—その2 日本語初期指導用教材の活用>

日本語初期指導はできれば経験や知識のある人材が指導にあたることが望ましいですが、経験のない人でも比較的指導しやすい教材として外国人児童用日本語学習教材『日本語学級2』（凡人社）を紹介します。この教材は主に小学生を対象としていますので中学生には少し子どもっぽいという印象をもたれるかもしれませんが、学校生活で使用される基礎表現、文型を学習するために適しています。

素 材	『日本語学級2』（凡人社）
学習内容	1 課 ～ではありません
時 間	45 分
準 備	お父さん、お母さんの顔のイラスト 下記語彙の絵カード
使用語彙	先生 お父さん お母さん +（足す） =（は） ÷（割る） ノート ほん 教科の名前 など…
活動の流れ	①否定の言い方だということを理解させる。 ②テキストの場面を把握させる。 ③イラストに従い口頭で答える練習をし、次に書く練習をする。 ④テキストから離れ、身の回りのもので既習のものについて問答し応用する。
留意点	・習った単語を使って繰り返し使用し、早く定着できるようにする。 ・新しい語彙を次々と使わず、状況設定を変えるなど工夫して、何回も使うように促す。

<実況中継例>

初期指導では、説明のことばをできる
だけ排除し、短い単語や文をつなげて
例示しながら理解させます。

T: おはよう

S: おはようございます。

T: じゃ始めましょう。

(教師は自分の胸に手を当てて) 先生です。

(学校内の教員たちの顔写真を見せて一人ずつ指差しながら)

先生です。先生です…

(生徒の方を指して) 先生ではありません。(違うというジェスチャーをする)

(クラス集合写真を見せて、一人ずつ指差しながら)

先生です。…先生ではありません。…先生ではありません。…先生です。

(クラス集合写真の生徒を指差して) これは？

S: 先生ではありません。

T: はい。じゃ、これは？(教師を指差して)

S: 先生です。

T: (イラストのお母さんを見せて) お母さんです。(対訳も見せる)

(イラストのお父さんを見せて) お父さんです。(対訳も見せる)

(お母さんのイラストを指差して) お父さんではありません。

(お父さんのイラストをみせて) お母さん？

S: お父さん。

T: そうです。お母さんです。お父さんではありません。

(先生の写真を指差して) お母さん？

S: お母さんではありません。先生です。

T: はい。いいです。(イラストや写真は片付ける)

(本を指差して) 本です。(ノート指差して) ノートです。

(ペンを指差して) 本ですか？

S: 本ではありません。

T: (ノートを指差して) 本ですか？

S: 本ではありません。ノートです。

T: はい。いいです。

($1 + 1 = 3$) というカードを出す)

3 ですか？

S: 3 ではありません。2 です。

T: はい。じゃ、これ。($6 \div 2 = 2$) というカードを出す) 2 ですか？

S: 2 ではありません。う～ん… 3 です。

T: はい。そうです。

(簡単な計算問題をいくつか解かせ、答えを確認する)

3 + 8 = 10 ですか？

S : 10 ではありません。11 です。

T : 15 ÷ 3 は？

S : 5 です。

T : はい。いいです。

四則計算の日本語で
の言い方にも慣れさ
せる

じゃ、ここに書いてください。←教科書の文型練習をする

S : はい。

T : はい、いいですね。

じゃ、これを見てください。(時間割を見せる) これは本ですか？

S : 本ではありません。う～ん…

T : 時間割です。

S : じかんわり。

T : はい。月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日。

S : 月、火、水、木、金。

T : 今日は水曜日ですか？

S : 水曜日ではありません。火曜日です。

T : そうですね。火曜日のここは (1 時間目の時間割を指差す)、体育？

S : 体育ではありません。音楽です。

T : そうですね。

(2 枚の時間割カード A、B を見せる。A と B は同じ時間割だが、ところどころ虫食い
状態で、A カードの虫食いの情報は B カードにはある、という相補関係)

じゃ、これ、見てください。←A カードをわたす

これは先生←B カードを手元に残す

月曜日、2 時間目は国語ですか？

自分の知りたい情報を基本文型を使
って聞き出すことができるという経
験を積ませる。

S : 国語ではありません。社会です。

T : はい、ありがとう。じゃ、水曜日、4 時間目は…算数ですか？

S : はい、算数です。

(生徒にも A カードの情報を穴埋めするために教師に質問させるよう促す)

金曜日、2 時間目は理科ですか？

T : 理科ではありません。算数です。

(以上のようにやりとりして、足りない情報を相手から聞き出して虫食いを埋める)

はい、できました！

ケース1：ブラジル人低学年児初期教科指導例

岩手の小学校に編入後、2 ヶ月が過ぎ、日本語はごく基礎的なことを聞いて、だいたい理解できるようになってきたが、ひらがな、カタカナがやっと読める程度です。教科学習の内容を使いながら、学習に必要な日本語を覚える学習方法例を提示します。

<プロフィール>

名 前	リタ・クロキ（8歳：小学校2年＝学齢相当に在籍）			
出 身	ブラジル；日系人（ポルトガル語）			
滞 在	2 ヶ月			
居住地域	県南日系人集住地域			
性格・学力等	ブラジルで小学校2年生の途中まで在籍し、日本の小学校に転入。 おとなしく内向的。得意、不得意な科目は特になし。			
日本語力	来日直後で日本語初期指導がまだ必要。			
	読む	書く	聞く	話す
	1	1	2	1
支 援 者	（学校内）日本語指導者 担任 （学校外）日本語支援者 母語支援者 学生			

<編入前後の対応>

対応部署	内容
市町村役場	外国人登録段階で教育委員会に連絡 通訳の手配
市町村教育委員会	就学案内を保護者と本人に渡し、転入学手続きと就学体制整備 通訳、日本語支援者の手配
受け入れ学校	【編入時】 三者面談（子どもの情報収集と学校情報提供。できれば、通訳を介す。） 入学手続き、教科書等の手配とカリキュラム作成と指導担当者の確定
	【編入後】 1週目は通訳が入り、学校の様子を簡単に説明。その後、外部の日本語指導員による週4時間程度の取り出し授業を実施。 現学級では、実技科目、給食、掃除などに参加し、世話役の子どもと一緒にいるように配慮。その他の科目時間中は自習、または教頭が取り出しで仮名練習、あいさつ練習などを継続。

＜初期段階の指導計画例＞

時期	内容	素材・科目等	担当・場所
1 週目	◎学校生活に慣れる (あいさつ、教室の日本語、時間割等)	にほんごをまなぼう (オンライン教材)	日本語指導者 ・取り出し
2 週目	◎ひらがな学習を始める ◎学校の一を知り (朝の会、帰りの会、休み時間、給食、 学級活動、クラブ活動、掃除など)	日本語学級 1 ↓	学校関係者、担任 ↓
3 週目	◎学級で授業を受ける (音楽、図工、体育、家庭科) ◎生活に慣れる (家族、一日の生活、放課後、買い物、乗り物、 電話)	日本語学級 2 ↓	日本語指導者＋ 学外支援者・家庭学習
1 ヶ月～ 2 ヶ月～	◎学校の一年 (学校行事、避難訓練、健康診断、遠足、運動会、 学習発表会、校外学習など) ◎基礎日本語学習を始める (日本語教材で基礎文型、基礎語彙を身につける) ◎漢字学習、計算学習を始める ◎教科の日本語学習を始める	かんじだいすき 1 日本語学級 3 JSL カリキュラム	

＜各教科の基本的な進め方＞

教科	内容	教材等
算 数	日本語の初期指導と並行して、『日本語学級Ⅱ』などの教材を使い、算数の授業で使うことばを習得させる。ドリルなどを使って計算力を高める。	『日本語学級Ⅱ』、くもん、学研等のドリル（基礎計算力アップ）
理 科	JSL カリキュラムを使いながら、授業で使うことばを習得させる。	
社 会	同 上	
国 語	日本語習得に集中させる。	『マリアとケンのいっしょににほんご』 『絵でわかるかんたん漢字』

- ・日本語初期指導を週 3～4 回、3 ヶ月程度実施し、基礎的な日本語力を習得させる。
- ・1 年生の学習をポルトガル語で復習する機会を作る。（通信教育、母語による支援者）
- ・できるだけ現学級で授業やクラス活動に参加させ、友人関係を作る。

＜教科学習を支援するための指導案＞

科 目	図工＋日本語
学習内容	絵の具の使い方 絵を描くときのことば
目 標	・図工で使う道具の名称と使い方を知る ・手順の表現を覚える ・変化の表現（～と～になる） ・授業中の指示表現を理解する
時 間	45 分
準 備	絵の具、筆、洗浄用バケツ、パレット、雑巾、塗り絵用シート、語彙カード
使用語彙	絵画用具一式（絵の具、筆、パレット、バケツ、画用紙、雑巾） 色（赤、青、黄色、緑、白、黒…） 手順の接続表現（まず、次に、それから、そして、最後に…） 変化の表現（～なる） 指示表現（V てください／V ましょう、V ないでください） 絵を描く授業の動作（かく、ぬる、つける、まぜる、かたづける） 色調（こい、うすい）
活動の流れ	1) 色の名前の確認 2) 絵の具を使う 3) 絵を描く 4) 後片付けをする
留意点	・自由に絵の具類に触れさせ、試行錯誤から学べる環境をつくる。 ・既習の言葉や構文を活用し、現実場面でどのような概念を表すのか体験的に学ばせる。 ・絵を描くことに慣れていないという点に留意し、描くことの楽しさを体験させる。

<授業の実況中継例>

①色の名前 (絵の具一式、画用紙)

(絵の具の箱を開けて・・・)

T: リタさん、これ、何ですか。

S: ?? 日本語でわかりません。

T: 何をするものですか。

S: 絵を描きます。

T: そうですね。これは絵の具といいます。

S: えのぐ (「えのぐ」という語彙カードを絵の具箱に提示)

T: いろいろな色がありますね。これは何色？

S: 赤です。

(同様に白、黒、黄色、青、緑、茶色など基本色を確認)

T: リタさんは何色が好きですか？

S: う〜ん、赤。

重要語彙はカードにして提示する。できればシール形式にして、道具にはりつけていくと、記憶を助ける。

色の名前は日本語初期指導である程度行われているので、どの程度覚えているか確認しながら進める。

②絵の具を使う

T: 今日は絵の具で絵を描きましょう。リタさんは絵が好きですか。

S: はい。

T: 絵の具で絵を描いたことがありますか。

S: いいえ、ありません。

T: そうですか。楽しいですよ。じゃ、まず、ここに絵の具を出しましょう。

これは、パレットです。(「パレット」という語彙カードを提示)

S: パレット

T: ここに赤の絵の具を出してください。

S: はい。

T: そうそう。まず、ふたをとります。それから、チューブを少し押します。

強く押さないでください。

次に、ここに青の絵の具を出してください。

(数種類の絵の具をパレットに出す)

ここに画用紙があります。(「がようし」という語彙カードを提示)

画用紙に色をぬりましょう。(「ぬる」という語彙カードを提示)

色は筆でぬります。(「ふで」という語彙カードを提示)

筆に水を少しつけます。(「つける」という語彙カードを提示)

それから、筆で絵の具と水をまぜます。(「まぜる」という語彙カードを提示)

そして、ここを赤でぬりましょう。

(指導者がやって見せてから子どもにまねさせる)

動作を表す言葉のカードは必要に応じてポルトガル語の対訳をつける

③色を作る

T: じゃあ、次はいろいろな色を作りましょう。

赤と白をまぜます。すると、ピンクになります。（指導者がやって見せる）

次は赤と黄色をまぜます。すると…ほら。こんな色になります。

S: オレンジ！

T: そう。オレンジになります。きれいな色ですね。

リタさんもいろいろな色をまぜてください。

（児童にいろいろな色をまぜさせ、「NとNをまぜます。Nになります」と表現させる）

S: 青と黄色をまぜます。緑になります。

T: じゃ、今度は水をまぜます。どうなりますか。

S: う～ん…（水を混ぜない色と混ぜた色をぬってみせて比較させる）

T: こちらは濃いです。こちらは薄いです。（「こい」「うすい」という語彙カードを提示）

水をまぜます。うすくなります。

S: うすい…なります？

T: うすくなります。じゃあ、今度はこれに色をぬりましょう。（ワークシート）

何色でもいいですよ。好きな色をぬってください。

ことばと動作を連動させ、概念を理解させる。

④後片付けの仕方を覚える

T: はい、じゃあ、絵の具を片付けてください。（「かたづける」という語彙カードを提示）

まず、絵の具を箱に入れましょう。それから、筆とパレットを洗いましょう。

そして、バケツの水を捨てて、ぞうきんでふきましょう。

（指導者が手伝いながら一緒に片付ける）はい、できました。

じゃあ、最後に、絵に名前を書いてください。そして、先生に出しましょう。

S: はい。…できました。

T: はい。きれいな色をたくさん使いましたね。

じゃ、今日、勉強したことばをもう一度見てください。

（絵画用具一式の名前、動作、形容詞などのカードを整理して並べて見せる）

道具の名前をたくさん覚ええました。絵の具はどれですか？

S: これです。

T: はい、じゃ、パレットは？

（単語を聞いて理解できているかどうか、確認する。余力があれば言わせて確認する。）

はい、よくできました。じゃ、今日はこれで終わしましょう。

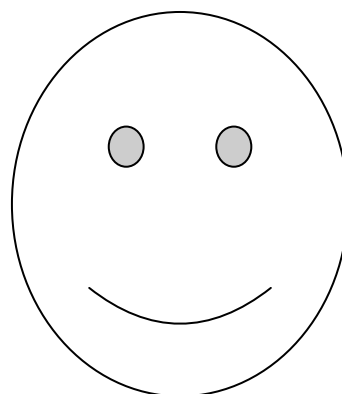
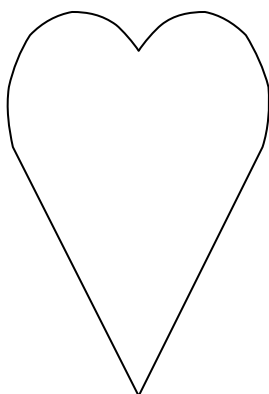
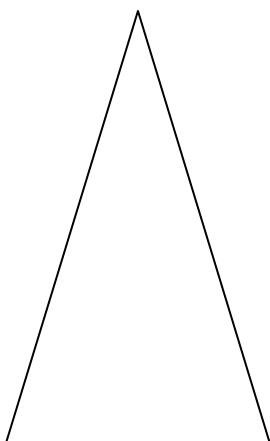
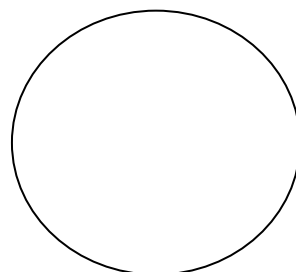
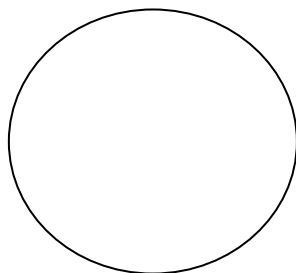
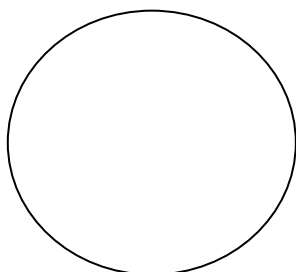
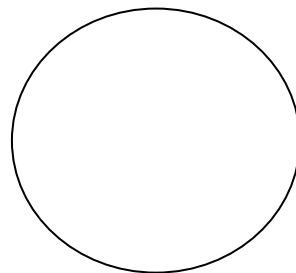
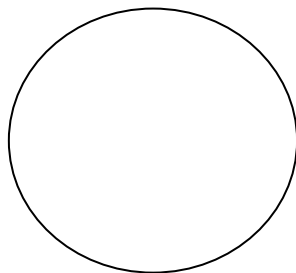
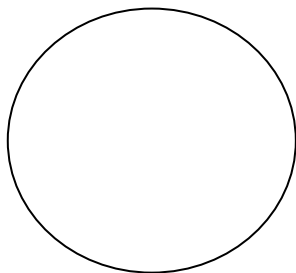
S: 先生、ありがとうございました。

非漢字圏の子供にとって、
聞く→話す→読む→書く、
の順に負担が重くなる

色ぬり用ワークシート例

___ねん___くみ

なまえ_____



ケース2： 中国人高学年児初期教科指導例

岩手の小学校に編入後、1 ヶ月が過ぎ、日本語はごく基礎的なことを聞いて、少し理解できるようになりましたが、ひらがな、カタカナもやっと読み書きできる程度です。しかし、漢字語彙を使って教科学習の内容を理解することが可能ですので、その学習方法を提示します。

＜プロフィール＞

名 前	徐 明博（10 歳 男子 ：小学 5 年＝学齢相当に在籍）			
出 身	中国ハルビン市（中国語）			
日本滞在	1 ヶ月（中国ハルビンから直接来日）			
居住地域	県北散在地域			
性格・学力等	中国で小学校 4 年生修了。算数はやや苦手。 活動的だが、やや集中力に欠ける。			
日本語力	来日間もなく、日本語初期指導が必要。日本についての知識もほとんどないため、「常識」のズレに対する配慮が必要。			
	読む	書く	聞く	話す
	1	1	1	1
支 援 者	（学校内） 副校長、担任、養護教員、スクールカウンセラー （学校外） 退職教員等学外支援者、通訳者			

＜編入前対応＞

対応部署	内容
市町村役場	登録段階で教育委員会に連絡 通訳の手配
市町村教育委員会	就学案内を保護者と本人に渡し、転入学手続きと就学体制整備 通訳、退職教員等指導支援者の手配、人材バンク
受け入れ学校	【編入時】三者面談（子どもの情報収集と学校情報提供。できれば、通訳を介す。） 入学手続き、教科書等の手配 日本語初期指導担当者の選定、カリキュラム作成
	【編入後】1 週目は通訳が入り、学校の様子を簡単に説明。 その後、退職教員等による週 4 時間程度の取り出し授業を実施。 現学級では、実技科目、給食、掃除などに参加し、世話役の子どもと一緒にいるように配慮。その他の科目時間中は自習、または教頭等学校関係者が取り出しで仮名練習、あいさつ練習などを継続。

＜初期段階の指導例＞

時期	内容	素材・科目等	担当・場所
1 週目	◎学校生活に慣れる (あいさつ、教室の日本語、時間割等)	にほんごをまなぼう (文科省 HP 教材)	学校関係者・取り出し
2 週目	◎仮名学習を始める ◎学校の一を知り (朝の会、帰りの会、休み時間、給食、 学級活動、クラブ活動、掃除など)	日本語学級 1	学校関係者、担任
3 週目	◎学級で授業を受ける (音楽、図工、体育、家庭科) ◎生活に慣れる (家族、一日の生活、放課後、買い物、乗り物、 電話)	↓	↓
4 週目	◎学校の一年 (学校行事、避難訓練、健康診断、遠足、運動会、 学習発表会、校外学習など) ◎基礎日本語学習を始める (日本語教材で基礎文型、基礎語彙を身につける)	日本語学級 2	学外支援者・家庭学習
	◎漢字学習、計算学習を始める ◎教科の日本語学習を始める	かんじだいすき 1 日本語学級 3 JSL カリキュラム	

＜各教科の基本的な進め方＞

教 科	内 容	教 材 等
算 数	日本語の初期指導と並行して、『日本語学級 3』などの教材を使い、算数の授業で使うことばを習得させる。ドリルなどを使って計算力を高める。	『日本語学級 3』、 くもん、学研等のドリル (基礎計算力アップ)
理 科	JSL カリキュラム、中国語対訳などを使いながら、授業で使うことばを習得させる。	
社 会	同 上	
国 語	日本語初期指導を続けながら、日本語の漢字学習を行う。特に、簡体字と日本語の漢字の書き方の違いに注目させることと、音読み、訓読みの学習を進める。漢字語彙にはルビをつけ、中国語の知識を活用して語彙を増やすようにする。	『絵でわかるかんたん漢字』 『かんじだいすき』

＜教科学習を支援するための指導案 その1 理科＞

科 目	理科
学習内容	おもり（振り子の原理）
目 標	・ 振り子の重りが1往復する時間は糸の長さによって変わることがわかる ・ 変化の規則性が捉えられる ・ 学習用語を覚える
時 間	45 分
準 備	ワークシート* ストップウォッチ 秤 糸 おもり 文字（語彙）シート
使用語彙	おもり 振り子 重り 糸 ストップウォッチ 条件 （一）往復 長さ はかる ふる 変える／変わる
活動の流れ	1) おもり、糸（紐）、振り子という名詞の確認をする 2) 振り子が1往復する時間をストップウォッチで計る ・ 1往復の計測は難しいので10往復の時間を計測する ・ 1、2、3…と数を数える ・ ワークシートに記録をとる 3) 振り子の糸の長さ、おもりの重さなどの条件によって、振り子の往復の時間が変わるかどうか確認する ・ 振り子の糸の長さ、おもりの重さを調整して往復時間を計測する ・ 条件、大きさ、速さなどの用語を適宜入れて確認する
留意点	・ 日本語での会話がまだうまく進められないため、使用する日本語は日本語学習で提示されたものを中心に使う。一文は短く、簡潔に表現するようにする。 ・ 日本語がわからないのか、学習内容に対する知識や理解が不足しているのか、いろいろな角度から質問しながら確認する。 ・ 学習内容に知識や理解が不足する場合には、中国語の対訳集などを活用して理解を助ける。漢字語彙は中国語と共通するものがあり、理解を助ける可能性があるので積極的に活用する。 ・ 実験を通じて、言語に頼らずに視覚的に現象を捉えられるようにする。

<授業の実況中継例>

①振り子の名称と動き（振り子を1つ用意する）

T: これは何ですか。(左右に振ってみせる) これは「振り子」です。

S: ふりこ。(「振り子」という文字カードを提示)

T: そうです。振り子です。(振り子を1回往復させる)

これは「おもり」です。

S: おもり。(「おもり」という文字カードを提示)

T: それから、これは「糸」です。

S: いと。(「糸」という文字カードを提示)

T: そうそう。じゃ、振り子をふりましょう。(「ふる」という文字カード提示)

おもりが右に行きますね。そして、また左に行きます。

徐君もやってみてください。どうぞ。(振り子を渡す)

S: はい。(振り子を振らせる)

T: そうそう。おもりが右に行ったり、左に行ったりしますね。

おもりが右に行って、また、左に行きます。これは「往復」といいます。

S: おうふく。

T: そうそう。漢字で「往復」と書きます。「復」は「返」の意味ですね。

S: ああ。わかります。

T: 1回往復すると、「一往復」といいます。

S: いちおうふく。(「往復」の文字カード提示)

T: そう。一往復。じゃ、一往復はどのぐらい時間がかかりますか？

S: ちょっと。

T: そう、ちょっとだね。でも、何秒ぐらいですか？

S: わかりません。

T: 時間は何ではかりますか？(ストップウォッチと定規を示す)これ？これかな？

S: これです。時計。

T: そうですね。時計ではかります。(「はかる」「秒」という文字カードを提示)

この時計は「ストップウォッチ」といいます。まず、ここをおします。

時計がうごきますね。それから、もう1回ここをおします。

時計が止まります。ここを見てください。今、2秒ですね。便利でしょ。

徐君もやってみてください。(ストップウォッチを渡す)

S: はい。

T: じゃ、スタート…、はい、ストップ！何秒？

S: 5秒です。

T: うん。できたね。じゃあ、今度は振り子の時間をはかります。

振り子を動かします。徐君、時間をはかってください。

ワークシートに振り子の絵を描き、「振り子」「おもり」「糸」という名称を書き込ませると良い。提示した文字カードは机の隅に並べておく

中国語の語彙と対照させて意味を確認し、概念が理解できているかどうか確かめる。

具体物で確認する

実際に触らせるなどの行動で、ひとつひとつ段階的に理解を確認する。

S: はい。(一往復の時間は短いので計測が難しいが、一往復ですぐに止める)

T: 何秒ですか?

S: え〜と、0 秒ちょっと?

T: う〜ん、一往復は短いですから、難しいですね。

じゃ、今度は 10 回往復します。時間をはかってください。スタート!

1、2、3、… 10、はい、ストップ。

S: はい。10 秒です。

T: うん。10 往復で 10 秒。じゃ、1 往復は何秒ですか。

S: う〜ん…。1 秒です。

T: そうそう。10 往復で 10 秒かかります。1 往復は 10 秒割る 10 往復で 1 秒だね。

($10 \div 10 = 1$ と書いて示す)

計算したらワークシートに書きましょう (ワークシート)

②振り子の条件;おもり (振り子を 2 組と追加のおもりを用意する)

T: じゃ、今度は条件を変えます。

S: しょうけん?

T: そう、「条件」(「条件」のカードを提示する)

中国語の対訳で意味を理解させる。

S: ああ、条件。

T: まず、重りを 2 つにします。(おもり 1 つと 2 つの振り子を見せる)

どちらが重い(「沉重」の対訳を見せる)ですか?

T: そうですね。じゃ、(2 種類の振り子を同時に持って) 1 往復の時間は同じ?

S: おなじ? (「同様」という対訳を見せる) ああ、う〜ん。こっちが 2 秒?

T: ちがうと思いますか?

具体物を見せて対比させる

S: おなじ…ちがう… (「同じ」「違う」の文字カードを提示)

(「不同」⇔「同様」という対比の訳を見せる) ああ、違います。

T: そう? じゃ やってみましょう。

徐君、振り子をふってください。私がはかります。

S: スタート・・・1、2、3… 10、ストップ。何秒?

T: 10 秒です。

S: え〜? おなじ?

T: そう。同じですね。じゃ、ここに、10 回の往復の時間を書いてください。

それから、ここに 1 往復の時間を書いてください。

この振り子とこの振り子は「重さ」が違います。

S: おもさ? (「重さ」の文字カードを提示) (「重量」の対訳を見せる)

T: そう、重さ。どのくらい重いですか、ということです。

S: 重さ。

新出の重要語彙はカードで
その都度確認する。対語は並
べて確認すると良い。

T: でも、糸は同じですね。糸の「長さ」は同じです。

S: ながさ? (「長さ」の文字カードを提示) (「長」の対訳を見せる)

T: 糸がどのくらい長い、ということです。

S: 長さ…。はい。

T: (振り子のおもりを示しながら) 重さ、(振り子の糸を示しながら)
この2つの振り子は条件が同じですか。

S: 違います。重さが違います。

T: そう。重さが違いますね。でも、往復の時間は同じです。

S: 時間は同じです。ふうん。

T: 不思議だね。

S: ふしぎ?

T: うん「惊奇」(辞書で語彙を見せる)

S: はい、不思議です!

今まで見てきたことを
論理的に整理し、何を対
比しているのか具体的
に明確にする。

③ 振り子の条件; 糸の長さ (糸の長さの違う振り子を2組用意する)

T: 今度は振り子の長さを変えます(半分にする) 重さは同じです。
往復の時間はどうですか?

S: 同じ?

T: そう?じゃ やってみましょう。

振り子が2つあります。この振り子は糸の長さが「半分」です。重りは同じ。

S: はんぶん?

T: そう。「半分」(「半分」の文字カードを提示する) (「一半」の対訳を見せる)

徐君、10回振ってください。(同様にタイムを計る)

10回の時間と1往復の時間を書いてください(ワークシート)

S: え?5秒です!

T: へえ、5秒ですか。じゃ、一往復は0.5秒だね。

S: 0.5秒。はい。半分です。

T: そうですね。糸の長さが半分。一往復の時間も半分。

S: 不思議!

T: 糸が短いと時間も短いです。

S: みじかい? (「短い」「長い」の文字カードを提示) (「短的」「長」の対訳を示す)

T: そう。糸が短い。時間も短いです。

糸が短いと、時間も短くなります。

S: 糸が短いと時間も短くなります。

小数点の概念が理解できているか確
認する。日本語の読み方も確認する。

事象のまとめを言語的に行う。

④ まとめ (ワークシートと文字カードを机上に整理する)

T: さあ、ワークシートを見せてください。ワークシートを見ましょう。

糸の長さが短いと…

S: 時間も短いです。

T: そうですね。糸の長さを短くすると 1 往復の時間は短くなります。

S: 糸の長さを短くすると

T: 一往復の時間は?

S: 一往復の時間は短いです。

T: そう。短くなります。

S: 短くなります。

T: はい、そうですね。よくできました。

今日はいろいろなことばを勉強したね。これを見てください。

(文字カードを整理して対語などにも注目させながら見せる)

(振り子を見せながら) これは?

S: 振り子

T: じゃ、これは?

S: 糸、おもり、ストップウォッチ… (事象と対照させながら語彙を確認する)

T: はい、よくできました。今日はこれで終わります。

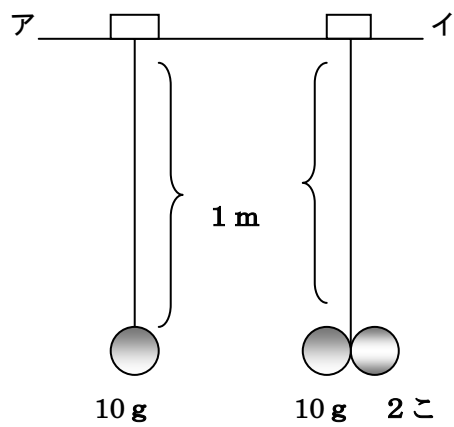
S: はい。ありがとうございました。

ワークシートの練習問題を解きながら、概念の理解を確認する。

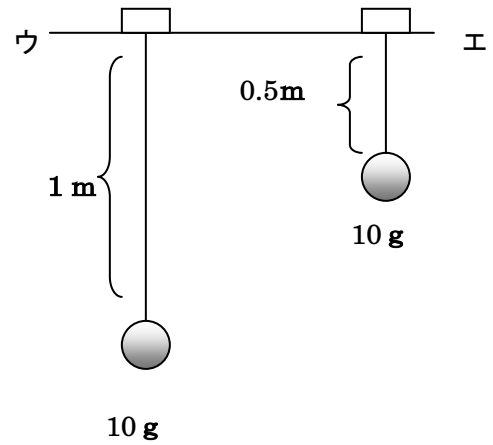
文字カードの理解が滞っている場合には対訳表などを使って確認する

【ワークシート】 ふりこの往復の時間と条件

<重さの条件>



<長さの条件>



		おうふく じかん 10 往復の時間	おうふく じかん 1 往復の時間
おも 重さ	ア かる 軽い		
	イ おも 重い		
なが 長さ	ウ なが 長い		
	エ みじか 短い		

* おもりを重くすると、1 往復の時間は_____なります。

＜教科学習を支援するための指導案 その2 社会＞

科目	社会
学習内容	日本の地形と気候
目 標	・ 地形図を見て日本の地形の特色を知る ・ 地形と気候の関係を知る ・ 母国の地形や気候と比較する
時 間	45 分 × 2 回
準 備	日本と中国の地形模型 地図 気候に関する図表 日本の四季をあらわす写真 ワークシート 語彙カード 語彙リスト（対訳つき）
使用語彙	地図、山、山脈、山地、平野、川、盆地、地形、風、雪、雨、気温、降水量 氷、町、海、太平洋、日本海、島、日本列島、国土、気候 降る、吹く、湿っている 高い、低い、多い、少ない、寒い、暑い、涼しい、暖かい、長い、 短い、大きい、小さい とても 少し マイナス ～度（気温） 東西南北 春夏秋冬
活動の流れ	1) 母国の地形、気候について話しながら、地形をあらわす語彙を確認する 2) 日本の地形の特徴を知る 3) 日本の地形と気候の関係を知る 4) 日本の季節の特徴と地形の関係を知る 5) 岩手とハルピンを対比し、それぞれの特徴を知る
留意点	・ 日本語での会話がまだうまく進められないため、使用する日本語は日本語学習で提示されたものを中心に使う。一文は短く、簡潔に表現するようにする。 ・ 日本語がわからないのか、学習内容に対する知識や理解が不足しているのか、いろいろな角度から質問しながら確認する。 ・ 学習内容に知識や理解が不足する場合には、中国語の対訳集などを活用して理解を助ける。漢字語彙は中国語と共通するものがあり、理解を助ける可能性があるので積極的に活用する。 ・ 中国の地形と日本の地形を比較することによって興味を喚起する。 ・ 模型や写真、図などを多用し、地形の特徴をつかませる。 ・ 日本の気候の多様性に気づかせる。（日本は狭い国、という偏見への対応） ・ 日本の都道府県の名前も地形の特徴についても知識がないため、それらの知識を適宜入れるようにする。

<授業の実況中継例>

1 時間目

①母国の地形、気候について話す (地形の模型、中国地図を用意する)

T: これは、中国の地図です。

S: ちず。(「地図」という語彙カードを提示する)(対訳リストを示して意味を確認する)

T: 徐君はどこから来ましたか?(「どこ」という語彙カードを提示する)

S: ハルピンです。

T: どこですか?(地図を指し示すよう促す)

S: ここです。

T: ああ、ハルピンですか。

ハルピンに山がありますか。(「山」という語彙カードを提示する)

S: ありません。

T: 川がありますか。(「川」という語彙カードを提示する)

S: 松花江(中国読みでよい)があります。

T: ああ、大きいですね。長いですね。松花江は大きくて長い川です。

じゃあ 冬、雪が降りますか。(「冬」「雪」「降る」という語彙カードを提示する)

S: ああ、いいえ、ちょっと…

T: あまり降らないんですね。寒いですか。(「寒い」という語彙カードを提示する)

S: はい、とても寒いです。

T: 冬はだいたい何度ぐらい?

S: なんと?

T: 気温は?(「気温」という語彙カードを提示する)

S: ああ。う～ん…

T: マイナス?

S: マイナス?

(「マイナス」という語彙カードを提示する)(対訳リストを示して意味を確認する)

はい。マイナス 20 度。だいたいマイナス 20 度ぐらいです。

T: へえ! とても寒いんですね。スケートができますね。(ジェスチャーしてみせる)

S: はい! スケートします。

T: ハルピンは氷の町ですね。(「氷」「町」という語彙カードを提示する)

S: はい、氷の町です。有名です。

T: お祭りがあるの?(「お祭り」という語彙カードを提示する)

S: はい。氷のお祭り。

T: へえ。きれいだろうね。

地図は地形がわかるように
カラー版を用意する。

まず、自分の故郷について質
問に答えさせながら説明さ
せ、地図に対する理解を確認
する。

中国の地名は中国語の発音
のままでよい。

故郷についての話題はでき
るだけ広げて、楽しく話させ
るよう促す。

②地形、気候についての語彙学習をする（語彙リスト；中国地図を用意する）

T：じゃ、今度は地図のいろいろな名前を日本語で覚えましょう。

山脈はどこですか？（「山脈」という語彙カードを提示する）

S：さんみやく…、ここ、ここ…（中国大陸のいくつかの山脈を示させる）

T：ハルピンのある黒竜江省の山脈は…

S：こくりゅうこうしょう？（「黒龍江省」という語彙カードを提示する）

ああ、はい。大興安嶺山脈（中国語でよい）。

T：大きい山脈ですね。高い山がたくさんありますね。

S：いいえ、あまり高くないです。

T：そう？じゃ、高い山はどこですか。

S：（中国西部の山脈地帯を指し示す）ここ。

T：ああ、そこはとても高いですね。7000メートルより高い！

じゃあ、平野は？（「平野」という語彙カードを提示する）

S：ここです。東北平原（中国語でよい）

T：うん。ハルピンは東北平原にありますね。

それから、南（「南」という語彙カードを提示する）には華北平原（「華北平原」の表記を見せる）にもありますね。ここは寒いですか？

S：いえ。寒くないです。

T：暑いのか？（「暑い」「寒い」という対語語彙カードを提示する）

S：はい、暑いです。氷、ありません。雪もありません。

③日本の地形の特色（日本地図、平面図、立体図を用意する）

T：じゃ、今度は日本について勉強するよ。地図を見てください。

山脈がありますか。

S：ここ（列島の中央に高い山脈があることを確認する）

T：じゃあ、川はどこですか。

S：ここと、ここ…

T：うん。じゃあ、平野はどこにありますか。

S：え〜と、ここ？小さいです。

T：そうだね。

T：そう。それから、山がたくさんありますね。

山と山の間の平らなところ（地図を指して）、ここは「盆地」です。

（「盆地」という語彙カードを提示する） 盆地はここにあります。

S：はい。とても小さいです。

T：うん。そうだね。日本は中国より小さいです。

S：日本は中国より小さいです。

T : でも、長いですよ。日本は北から南に長い国です。

(「北」「南」という対語と「長い」という語彙カードを提示する)

じゃ、中国と日本の山や川を比べてみよう。地図を見て下さい。

これは日本の川、これは中国の川です。

何が違いますか。(「違う」「同じ」という対語の語彙カードを提示する)

S : 日本の川は小さいです。

T : うん。短いですね。(「短い」「長い」という対語の語彙カードを提示する)

じゃ、これを見てください。(ワークシート 1)

今まで勉強したことばを思い出してください。(山脈、川、盆地、平野を確認)

どこが川？どこが山脈？ここに書いてください。

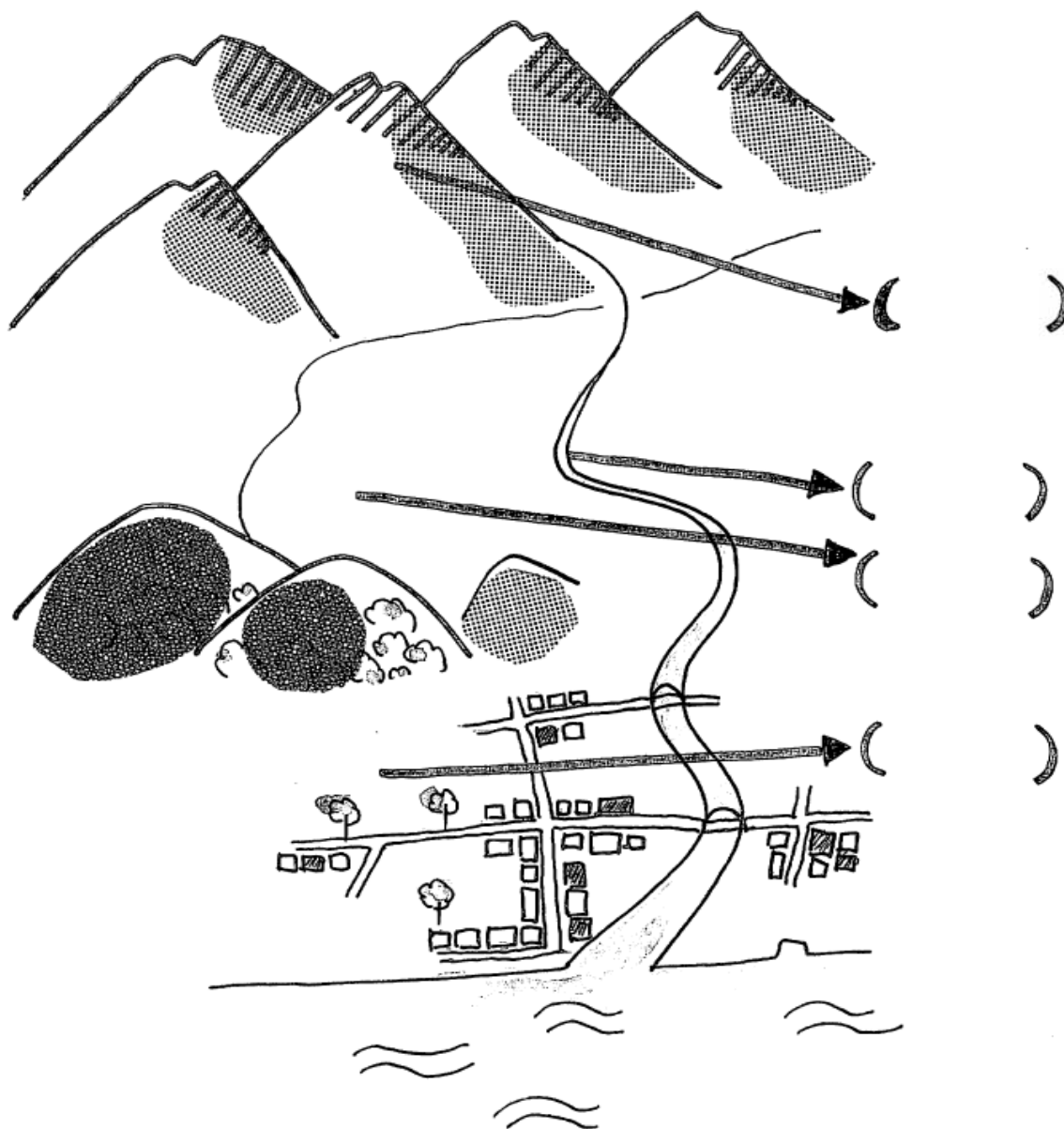
はい、できましたね。

これ、覚えてください。もう一度、家で勉強してください。

S : はい。わかりました。

ワークシートに書き込むこと
によって学習した語彙と
その概念の理解を確認する。

日本の地形



2 時間目

④日本の地形による気候の特徴（太平洋側と日本海側の気候の違い）

（四季をあらわす写真、カレンダー、地図、地形模型などを用意する）

T：日本には四つの季節、四季があります。知っていますか。

（「季節」「四季」という語彙カードを提示する）

S：はい、え〜と…日本語でわかりません。

T：春、夏、秋、冬。

S：はる、なつ、あき、ふゆ。

T：うん。ハルピンは四季がありますか。

S：はい。同じです。

T：春はいつですか。（「いつ」という語彙カードを提示する）

S：え〜と…（カレンダーを指差させる）ここからここ。

T：じゃ、冬は？

S：ここ、ここ…（11月から3月まで）

T：う〜ん、長いですね。

じゃ、これを見てください。（ワークシート2を提示）

できれば立体模型で説明
するとより理解が深まる

これが日本の島です。こことここが海。ここが太平洋。ここが日本海。

（「島」「海」「太平洋」「日本海」という語彙カードを提示する）

夏は太平洋の南東（位置を指し示す）から日本に風が吹きます。

（「南東」という語彙カードを提示する）

この風は暖かいです。そして、湿っています。

（「暖かい」「湿っている」という語彙カードを提示する）

この風がこの山脈にぶつかります。すると、大きい雲になります。そして、雨が降ります。そして、暑いです。（「ぶつかる」「雲」「暑い」という語彙カードを提示する）

S：雨がたくさん降りますか。

T：うん、そうだね。そして、暑いです。これが日本の夏です。

（夏の風景写真を見せる。夕立の写真と快晴の写真を見せるとよい）ハルピンは？

S：同じです。暑い。

T：じゃ、今度は冬。冬は中国・ロシア（北西）から風が吹きます。

この風はとても冷たいです。（「冷たい」「暖かい」という対語の語彙カードを提示する）

冬のハルピンは寒いよね。そこから吹く風だよ。

S：とても寒い！

T：その風は日本海を通ります。そのとき、海の水も一緒になります。

S：一緒？（「一緒」という語彙カードを提示する）

T：そう。だから、風は湿っています。

模型がない場合には
図を示しながら身振
り手振りで説明する。

その風が山脈にぶつかります。すると、雲ができます。

そして、その雲から雪が降ります。

S: 雨じゃありません？

T: そうだよ。風が冷たいから、雨じゃなくて雪が降るんだ。

S: ふうん。寒いから、雪が降ります。

T: そう。夏と冬は風が反対だね。(「反対」という語彙カードを提示する)

S: はい、反対です。

T: 季節で反対になります。だから、季節風といいます。

(「季節風」という語彙カードを提示する)

⑤冬の気候の地域差を見る

(札幌、上越、東京、那覇、盛岡の写真、都道府県名の入っていない地図シート、都道府県名の入った地図シート、札幌、上越、東京、那覇、盛岡という地名カードを用意する)

T: ここは知ってる？(北海道を指す)(ワークシート3を提示)

S: 北海道。

T: そうそう。北海道で一番大きい町が札幌です。ここね。(地図を示す)

じゃ、東京はどこですか？

S: わかりません。

T: 東京はここ。徐君は今、盛岡に住んでいます。盛岡はここね。それから、ここが上越。そして、ここが那覇です。(地図に地名カードを置かせるとよい)

S: はい。

T: じゃ、この5つの町の中でどこが一番寒いですか。

S: いちばん？(「一番」という語彙カードを提示する)

ああ、札幌！

T: うん。じゃ、どこが一番暖かいですか。

S: ここ、那覇。

T: うん。そうだね。じゃ、冬のことを勉強します。

ここは何ですか？(奥羽山脈を指す)

S: ええと(語彙カードを示す) 山脈です。

T: そうそう、山脈ですね。冬はどこから季節風が吹きますか。

S: 中国から！

T: うん、寒い季節風ですね。そして、その風が山脈にぶつかります。すると？

S: 雪が降ります。

T: そう！雪が降ります。でもね、雪はここ、日本海側に降ります。それから？

(「日本海側」という語彙カードを提示する)

できれば立体模型で説明
するとより理解が深まる

身近な場所に関心を
持たせる

カードを動かすなど体を
使って理解を進める

S：それから？

T：山のこちら側、太平洋側にも雪が降りますか？

（「太平洋側」という語彙カードを提示する）

S：う～ん、降ります？

T：いいえ。水は全部日本海側に降りました。この山を通った後、もう雲に水はありません。（「後」という語彙カードを提示する）だから、雪は？

S：降りません。水がありません。

T：そう。太平洋側は雪があまり降りません。東京は？

S：降りません。

T：そうだね。盛岡は？

S：降りません。

T：うん。でも、盛岡は寒いです。山がここにもあります。だから、少し降ります。那覇はどうですか？

S：山がありません。降りません。

T：そうだね。それから、那覇は南にあります。だから、冬も暖かいです。だから、雪は降りません。

学習した知識の理解を確認するように段階を踏んで話を進めるよう

⑥降水量（降雪量）と気温の関係を見る

T：じゃ、ここに気温と降水量の図が5つあります。

降水量というのは雪や雨の量です。（「気温」「降水量」という語彙カードを提示する）

札幌、盛岡、東京、上越、那覇の5つの図です。どれがどこの図ですか。

S：え～と、札幌は寒いです。だから、これ。那覇は暑いです。だから、これ。上越は…

T：上越は日本海側です。冬に雪がたくさん降りますね。だから…

S：あ、これです。これが東京。

T：そうそう。よくできました。

じゃ、降水量が一番多いのはどこですか。

S：上越。

T：そうだね。じゃ、このワークシートに書いてください。（ワークシート3）

じゃ、2番、3番、4番、5番はどこですか。書いてください。

（ワークシートに書き込ませる）

今度は気温を見てみましょう。1月の札幌の気温は何度ですか。

S：え～と、3度です。

T：そうですね。じゃ、これもワークシートに書いてください。

はい、いいですね。

一番寒いところはどこですか。

S：札幌です。

T：じゃあ、一番降水量が多いところはどこですか。

S：え〜と、上越です。

T：そうだね。札幌のほうが寒いですね。でも、上越のほうが降水量が多いです。

不思議だね。どうして？（「どうして」という語彙カードを提示する）

S：う〜ん…、札幌は高い山がありません。

T：そうそう。冷たい風が山にぶつかります。そして、雪が降りますね。

だから、山がないと雪が少ないです。

ここに冬の写真が 5 枚あります。どこの写真ですか。

地図においてください。（写真と地図をマッチングさせる）

いいですね。

（時間があれば、盛岡とハルピンの気候を比較する）

気候の要因と気温、降水量
の関係が把握できたか、ひ
とつひとつ確認し、ワーク
シートに書き込ませるこ
とで振り返りができるよ
うにする。

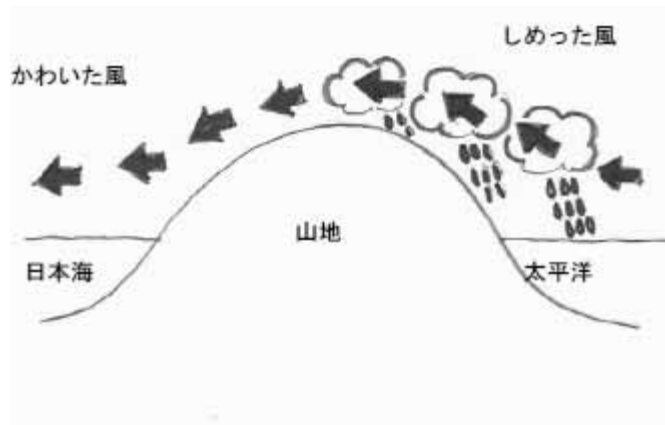
<ワークシート2>

日本の気候の特色

四季と季節風

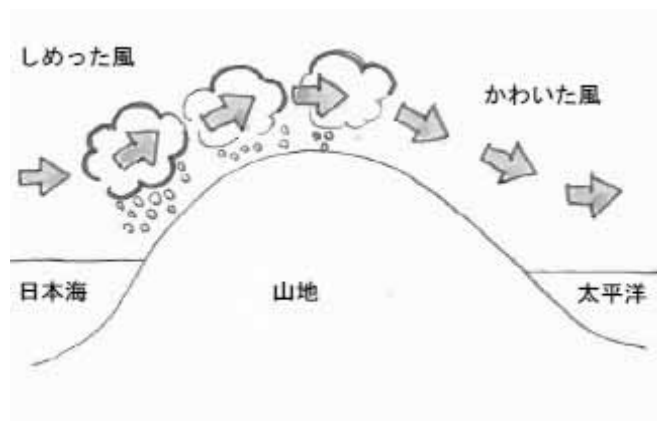
日本には、春、夏、秋、冬の4つの季節があります。これを四季といいます。

夏は、南東から高温で湿った風が吹くので、太平洋側では、雨がよく降り、暑い日が多いです。日本海側では、山地を越えてかわいた風が吹き、ときどき気温がとても高くなります。



冬は、北西からしめった冷たい風が吹いてきます。日本海側では、雪がよくふります。太平洋側では、山地を越えて冷たい風が吹きます。

夏と冬で吹いてくる風が反対になります。このような風を季節風といいます。

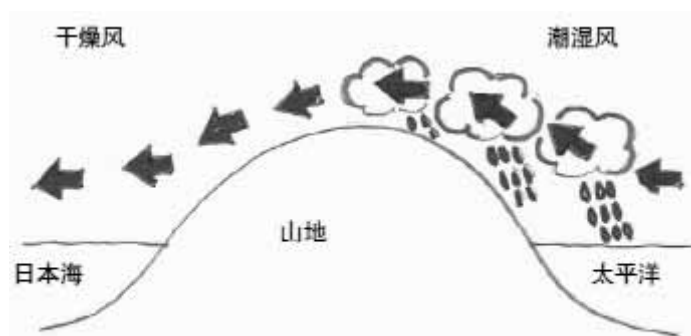


<ワークシート2 中文>

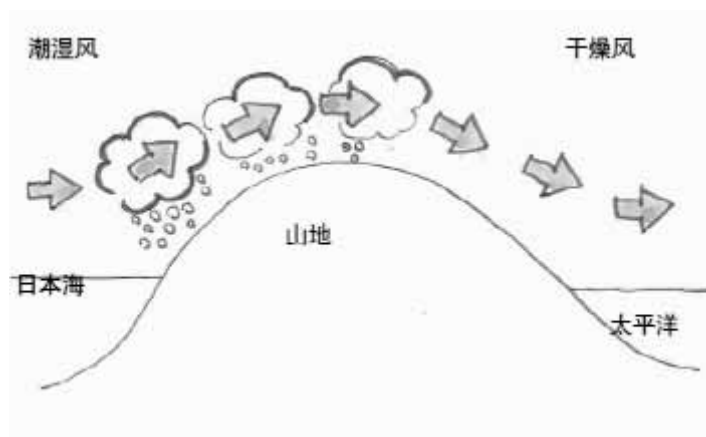
日本有四个季节。是春天、夏天、秋天、冬天。四季区别非常分明。

山脉在日本列岛纵贯南北。在气候方面上太平洋侧和日本海侧有很大的差异。

夏季，在太平洋侧吹东南季风，常有雨、气温较高。在日本海侧干燥，高温较少。

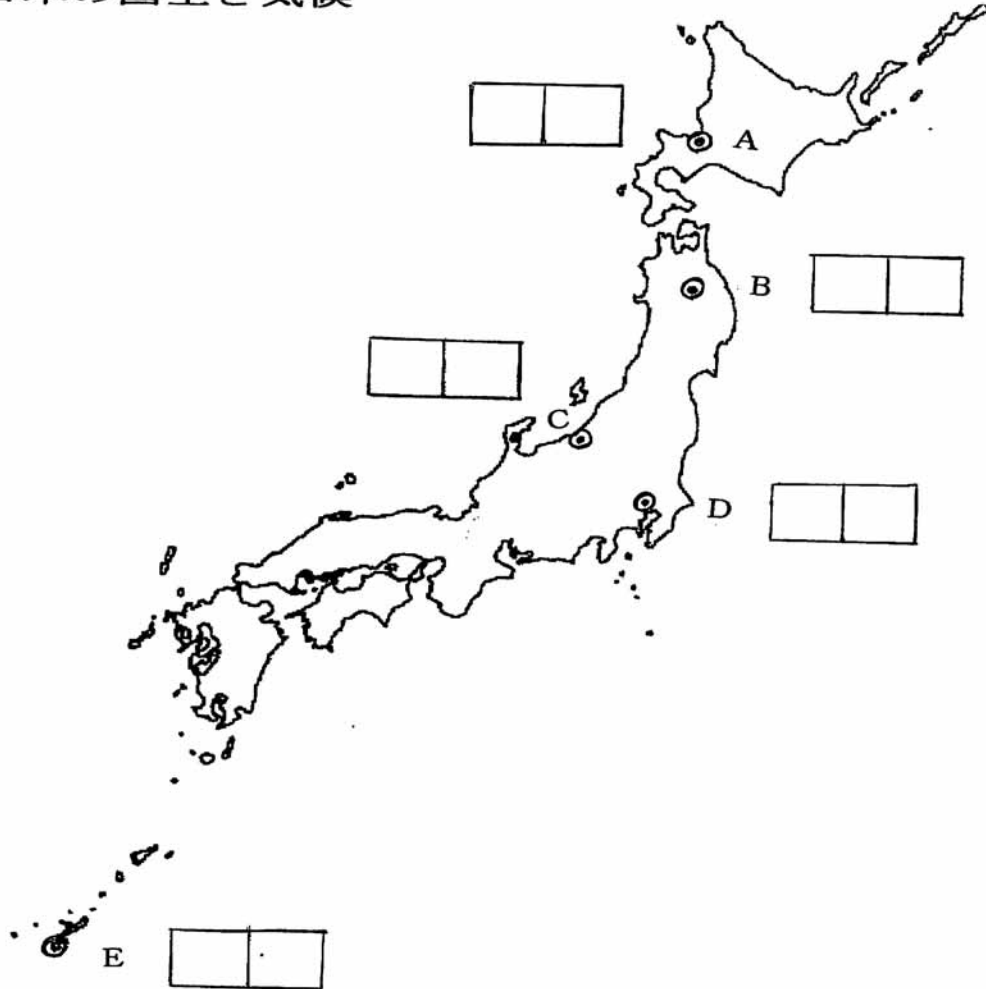


冬季，大陆吹来西北季风，日本海侧有多雪。太平洋海侧吹干燥风。
季风是周期性的风，随着季节变化。夏季吹东南风，冬季吹西北风。

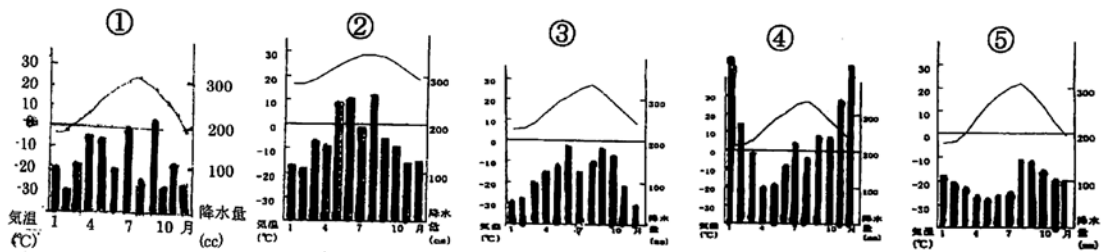


<ワークシート3>

にっぽん こく と き こう
日本の国土と気候



ア 上越 イ 東京 ウ 那覇 エ 札幌 オ 盛岡



ケース3：ブラジル人高学年長期不就学児童の指導例

国内で移動を繰り返し、6年間日本に滞在していますが、学校には小学校1年生のときに1年間通学ただけで、学習言語は日本語もポルトガル語も育っていないケースです。これまで学校以外では、家で日本語のテレビを見たり、近所の同年齢の子どもたちとの接触があったため、日常会話は十分できます。ここでは、学習言語を育てるための文字の読み書き初期指導例を提示します。

<プロフィール>

名 前	ジョルジュ・ホンダ（11歳：小学校5年＝学齢より1学年下に在籍）			
出 身	ブラジル；日系人（ポルトガル語）			
滞 在	6年（国内の数箇所に在住経験があり、長期不就学状態。最近、転入）			
居住地域	県南日系人集住地域			
性格・学力等	日本の学校に1年程通学経験があるが、その後不就学状態が続く。活発な性格。岩手には転入してきたばかりで友人関係はいない。			
日本語力	日常会話は不自由しないが、学習言語との接触が乏しく、読み書き能力は小学校1年生程度。			
	読む	書く	聞く	話す
	1	1	3	3
支 援 者	（学校内）日本語指導者 担任 （学校外）日本語支援者、母語支援者、学生			

<編入前対応>

対応部署	内容
市町村役場	登録段階で教育委員会に連絡 通訳の手配
市町村教育委員会	就学案内を保護者と本人に渡し、転入学手続きと就学体制整備 通訳、日本語支援者の手配
受け入れ学校	【編入時】 三者面談（子どもの情報収集と学校情報提供。できれば、通訳を介す。） 入学手続き、教科書等の手配 カリキュラム作成と指導担当者の確定 【編入後】 基本的には初日から現学級で過ごし、国語、社会科などの授業中に外部講師による週3時間程度の個別の日本語指導を実施。

＜初期段階の指導例＞

時期	内容	素材・科目等	担当・場所
1 週目	◎学校生活に慣れる (朝の会、帰りの会、休み時間、給食、 学級活動、クラブ活動、掃除など)	にほんごをまなぼう	学校関係者・取り出し
	◎学級で授業を受ける (国語と社会は取り出し)		学校関係者、担任
	◎仮名復習	日本語学級 1	日本語支援者
2 週目	◎漢字学習、計算学習を始める	計算ドリル	学校関係者・学生
4 週目～	◎教科の日本語学習を始める	日本語学級 3 JSL カリキュラム等	日本語支援者 学外支援者・家庭学習

＜各教科の基本的な進め方＞

教科	内容	教材等
算 数	『日本語学級Ⅱ』などを使い、算数の授業で使うことばを習得させる。ドリルなどを使って計算力を高める。(四則計算からはじめる)	『日本語学級Ⅱ』、 くもん、学研等のドリル (基礎計算力アップ)
理 科	JSL カリキュラムを使いながら、授業で使うことばを習得させる。	ブラジル人児童用各種ドリル
社 会	同 上	〃
国 語	仮名および小学校 1 年程度の漢字の復習。 日本語教材により読解力を高める。	『絵でわかるかんたん漢字』 『かんじだいすき』 『マリアとケンのいっしょににほんご』

- ・日本語初期指導を学校外で週 2、3 回実施し、主に読み書き能力を向上させる。
- ・学校外で教科支援も週 1、2 回教科ごとに実施し、学習に慣れさせる。
- ・学校では、教科書を読んで理解する部分にできるだけ簡単な日本語による口頭の説明をする。
- ・簡単なものから段階を踏んで理解を促すような宿題を少量ずつ与える。

＜教科学習を支援するための指導案＞

科目	日本語（表記）
学習内容	仮名と漢字（復習）
目 標	仮名の読み書きに慣れる 漢字で表記する基礎を作る
時 間	45 分
準 備	ワークシート（「在日ブラジル人のための教材」東京外国語大学多言語・多文化教育センター編参照） 漢字カード 仮名 50 音表 かな練習シート
使用語彙	かな（清音） 漢字 目 耳 口 手 足
活動の流れ	1) 簡単なひらがな、カタカナ語彙の読みの確認をする 2) ワークシートを使って、体の部位の漢字を紹介する 3) 体の部位の漢字の入った簡単な文章を読み、意味を確認する
留意点	・ 仮名の読み書きに抜け落ちている部分がないか確認し、不完全な部分は宿題等で補完する。 ・ 清音だけでなく、濁音、特殊音の表記の読み書きも確認する。 ・ カタカナ語彙の書き方、意味、使い方も徐々に確認する。 ・ 小学校 5 年生までの漢字語彙は初めから漢字で覚えるように促す。 ・ 授業中の課題や宿題などを通じ、読み書きの楽しさを知るように促す。

<授業の実況中継例>

①かな表記の確認 (50音表とクイズシート)

T: 今日からいっしょに勉強しましょう。

S: はい。

T: 日本語はどう？難しいですか。

S: 話すのは簡単だよ。でも、読んだり書いたりするのはあんまりできない。

T: そう。じゃあ、読んだり書いたりするのが楽しくなるようにがんばろうね。

ジョルジュ君がどのくらいひらがなを覚えてるか、ちょっとクイズをするよ。

S: クイズ？

T: うん。これを見てください。(ひらがなクイズシート)

やり方、わかるかな？

S: うん。

T: じゃ、やってみよう。ヨーイ…スタート！

S: できました。

T: はい。…え〜と、このひらがな、ちょっとちがうよ。ここ、見てください。

S: ああ、ほんとだ。…こうだ！

クイズを2, 3種類行い、ひらがなの定着状況の確認をする。できない部分は50音表で確認し、宿題などで補強する。

②体の部位をあらわす漢字 (漢字シート、漢字カードを用意する)

T: じゃ、今度は漢字の勉強をします。ジョルジュ君、これ何？(目を指差して)

S: め

T: そうだね。じゃあ、これは？(耳を指差して)

S: みみ

T: そう。じゃあ、これは？(口を指差して)

S: くちです。

T: 今日はこの漢字を覚えるよ。絵を見てください。(漢字シート①)

これが「目」。目の漢字は横に倒してみると目の形に似てるでしょ。

S:ほんとだ。似てる。

T: 覚えやすいでしょ。

S: うん。

T: 口も同じだよ。「口」という漢字は口に似てるね。

S: うん。覚えたよ。でも、耳はちょっとむずかしいな。

T: う〜ん、そうだね。でも、少し似てるよね。それから、これが「手」。

手のひらの模様の形に少し似てるかな。

S: うん。

T: じゃ、漢字クイズです！(ワークシート②) これ、わかるかな。

S: 簡単だよ！…はい、できました。

象形文字は形を認識させ、記憶させる。

書く前に、見て認識できるように促す。

T: 簡単だね。じゃあ、次。ここに 4 つの漢字のカードがあるから、「口」って言った
ら口の漢字カードを指差してね。

S: はい。(カルタ取りの要領で何回か指差させる)

T: できたね。じゃ、ここを見てください。(ワークシート③)
読んでみてください。

S: は・な・し・ま・す…はなします。

T: 「話します」は口でするよね。だから、この 4 つの漢字から「口」を選びます。
じゃ、次を読んでください。

S: み・ま・す…見ます! これは、え〜と、「目」です。
(同様に 4 問全部する)

T: はい、よくできました。

文字の識別ができるようになったら、書く練習をする。筆順に注意するときれいに書けることを理解させる。

じゃあ、今度は漢字を書いてみましょう。(漢字練習シート)
これは?

S: くち

T: そう。書き方はね、1…2…3 です。これ、筆順って言って、かっこよく書くためには大切なんだよ。さあ、書いてみよう。

S: はい。(ワークシートに書き込ませる) できました。

T: うん、いいね。じゃ、次は?

S: め

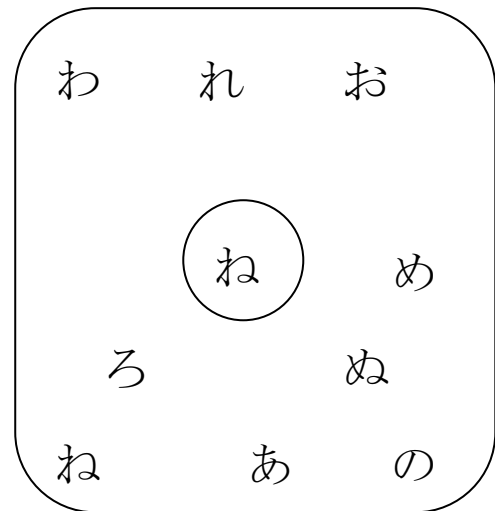
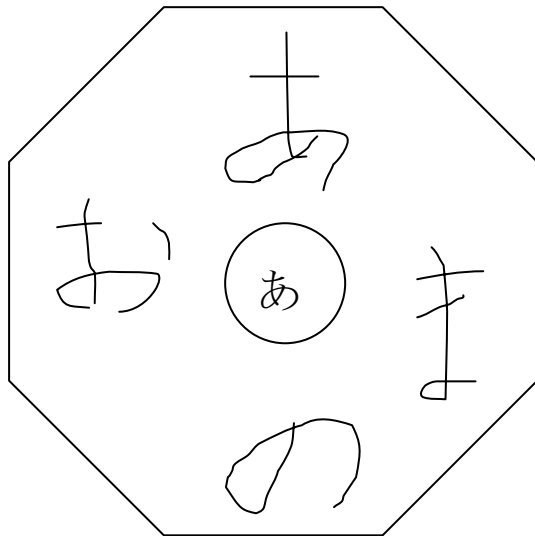
(以下、同様に 4 つの漢字を全部書かせる)

T: はい。よくできたね。じゃ、宿題! この漢字シートに 10 回ずつ今日勉強した漢字を書いてきてね。この次にテストするよ。

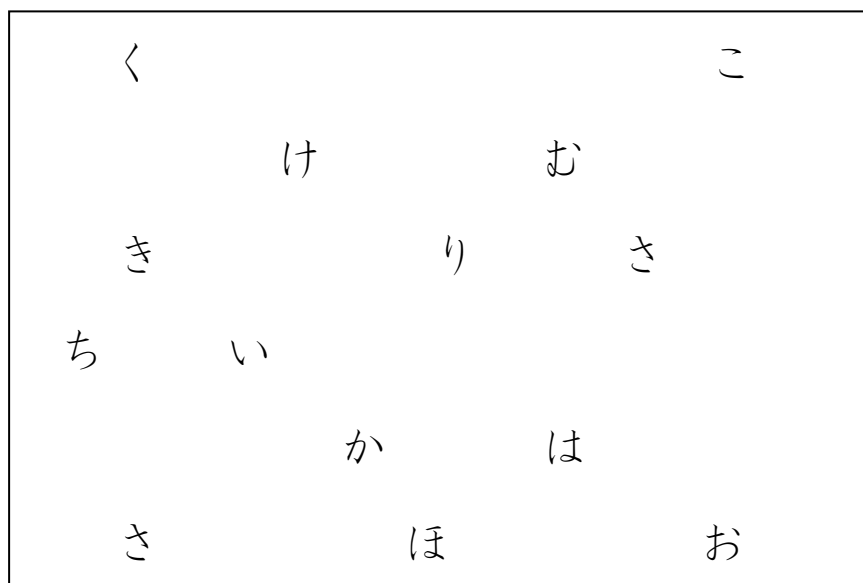
S: はい。

【かなクイズ例】

1. ○の中とおなじものはどれ？

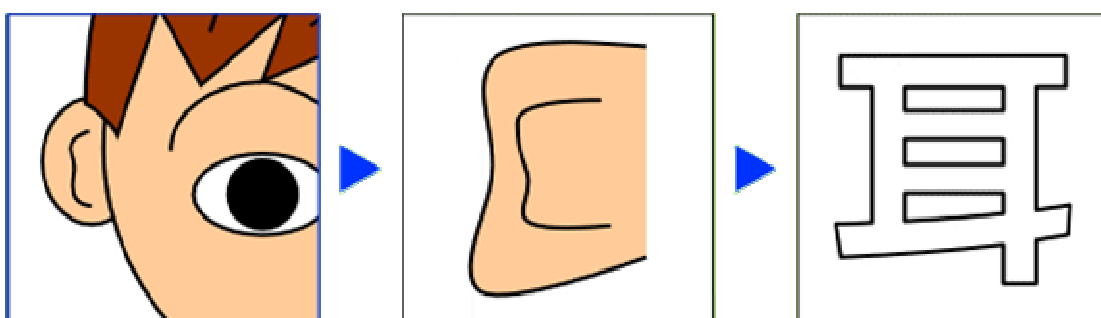
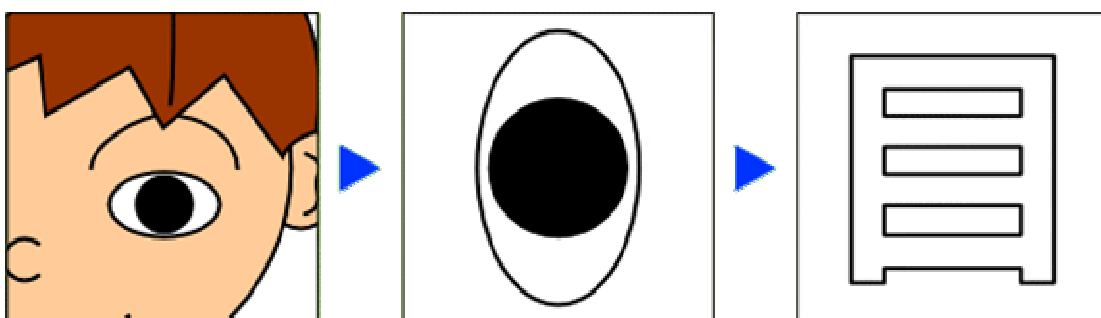
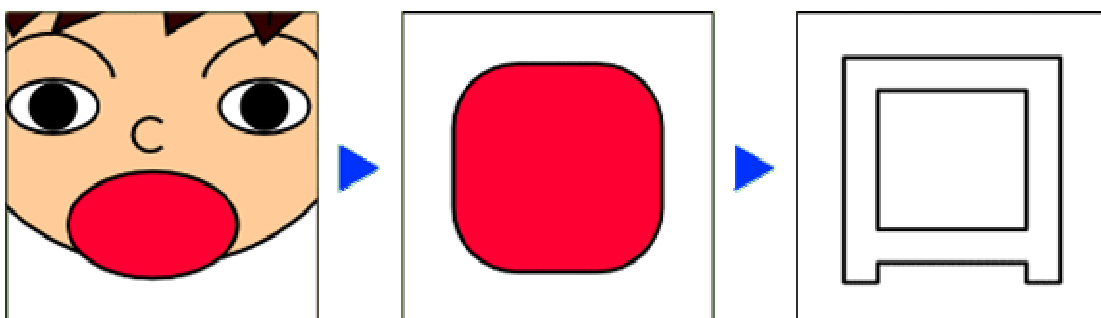
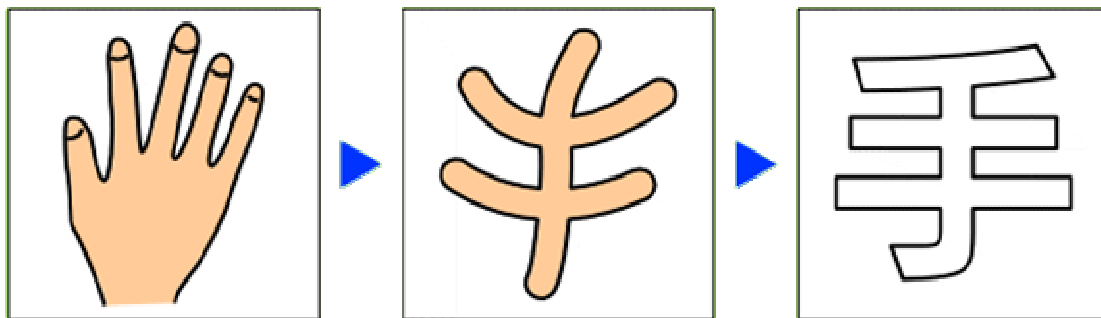


2. 「か〜こ」までじゅんばんにせんをひこう！

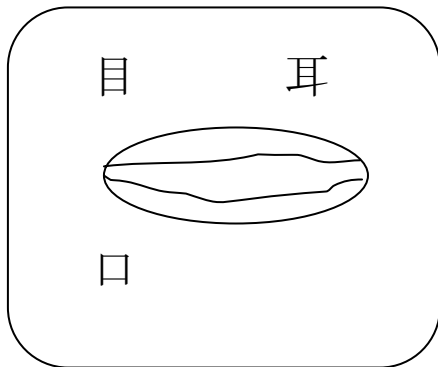
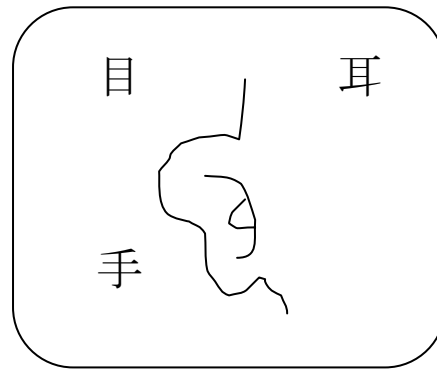
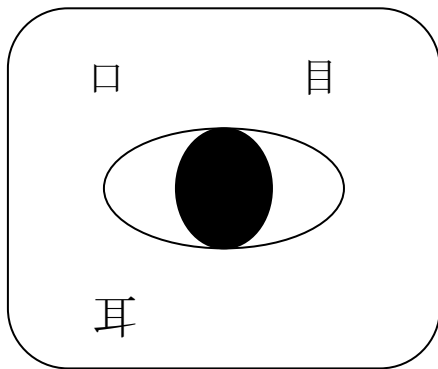


【漢字シート例】

① かんじをみよう！



② どれかな？



③ どれかな？

はなします (目 口 耳 手)

みます (目 口 耳 手)

ききます (目 口 耳 手)

たべます (目 口 耳 手)

もちます (目 口 耳 手)

ケース4： 中国人中学生教科指導例

初等教育のほとんどを岩手の小学校で終えて中学校に進学した子どもです。日常会話は日本人とほとんど同じようにできますが、学習言語は遅れがちです。中国語の学習言語も育っていません(学習言語のセミリンガル状態)。中国語の知識を活用することができない場合の学習言語育成指導例を示しました。

<プロフィール>

名 前	王 唯 (12 歳 男子 中学 1 年＝学齢相当在籍)			
出 身 (母語)	中国・大連市 (中国語)			
滞 在	6 年			
居住地域	県中央			
性格・学力等	数学、理科は平均的だが、英語、国語は苦手。特に論理的な長文の読解や作文は苦手である。 活発で外交的。スポーツ好き。大学院留学生の家族で、帰国の可能性あり。			
日本語力	初等教育のほとんどを日本で修了しており、日常レベルの日本語はほとんど問題ない。ただし、学習言語にまだ課題があり、特に読み書き能力については平均的な中学 1 年生よりも遅れている。			
	読む	書く	聞く	話す
	2	2	3	3
支援者	(学校内) 担任 (学校外) 教科支援者、学生			

<編入学前対応>

対応部署	内容
市町村役場	特になし
市町村教育委員会	教科学習支援者手配 (人材バンク) 進路情報提供 (高校入試外国人特別配慮など)
受け入れ学校	【編入前】 卒業小学校からの子どもの情報収集。 外部支援者との支援協力体制の確認。 各教科担任への子どもに関する情報提供 (特に学力不振科目の対応)
	【編入後】 外部支援者による長期休業中の教科支援。 各教科担任からの特別課題。

＜初期段階の指導例＞

時期	内容	素材・科目等	担当・場所
1 週目	◎基礎学力チェック ・小学生時代の学力をテストでチェックし、弱点を発見する。 ◎母語による学力チェック ・中国語の国語、算数、理科、社会（地理部分）についてドリル、テストでチェックし、母語力の発達状況を確認する。	主要 5 教科	各教科担任等・学校
2 週目～	◎教科学習 ・学力チェックの結果を考慮し、得意教科の補強と苦手教科の克服を進める。 ・中国人留学生などの支援で中国語による学習を進める。		教科支援者・学外 ＊学校との連絡体制

＜各教科の基本的な進め方＞

教科	内容	教材等
数 学	文章題は小学校レベルのものから理解力を確認し、よく使う表現の意味・使い方を覚える。 言語を使った数学的な考え方を身につける。	JSL カリキュラム
英 語	中国語、英語、日本語の文法的な違いを対比させ、認識できるようにする。 英単語はアルファベットに分解せずにひとまとまりで認識させる等で、抵抗感を和らげる。	JSL カリキュラム
理 科	JSL カリキュラムなどを使って説明しながら用語を覚える（語彙訳、辞書） ドリルや問題集などで小学校レベルから復習	JSL カリキュラム
社 会	同 上	JSL カリキュラム
国 語	JSL カリキュラム、リライト教科書を使って説明しながら用語を覚える。 読み書き練習を重点的に行う。	JSL カリキュラム

- ・得意分野は伸ばす、不得意分野はゆっくり無理せずに！
- ・部活動等で平日の放課後指導は困難。土日、および長期休業中の指導時間を確保する。

＜教科学習を支援するための指導案 その１ 社会＞

科目	地理
学習内容	岩手県の概要と地形的特長
目 標	・ 地図や資料を通して、岩手県の地理的特徴を読み取る。 ・ 地形に関する基礎知識を習得する。
時 間	45 分
準 備	地図（地形図、衛星写真などの鳥かん図）、白地図、岩手県の資料
使用語彙	岩手県、青森県、秋田県、宮城県、福島県、山形県、東北地方、緯度、経度、東北地方、西側、東側、東部、海岸、奥羽山脈、北上高地、三陸海岸、リアス式海岸、北上盆地、北上川、山岳丘陵地帯、沿岸部、隆起海岸、沈降海岸、海食崖、河岸段丘、三陸漁場、寒流、暖流
活動の流れ	1) 東北地方の県名を確かめる 2) 岩手県の地形の特徴について資料を読んで理解する 3) 読んだ内容を、ワークシートで確認する
留意点	・ 口頭でのやり取りはあまり問題なくできるが、読み書き能力が不足しており、知識を正確に理解することが苦手であるため、読む、書く、という作業を段階的に取り入れる。 ・ ノートのとり方、知識の整理の仕方など、コツを教える。 ・ 学んだことは書いて整理する習慣をつける。

<授業の実況中継例>

①東北地方の県の名前をたしかめよう (ワークシート1: 東北地方の地図)

T: この地図を見てください。岩手県はどこかな?

S: ここ?

T: そうですね。じゃ、ここは何県?

S: えーと、秋田かな? うーん

T: ここは青森県です。じゃ、ここは?

S: あっ、こっちが秋田県。

T: そうそう。じゃ、こっちは?

S: 宮城県。

T: こことここは?

S: うーん、わからない。

T: 山形県と福島県です。

S: あっそうか。わかった。

T: この6つの県のある地方は、東北地方です。

S: 知ってるよ。中国とおんなじだね。

T: じゃ、6つの県を地図に名前を書き入れてください。

S: ここは? 北海道。

T: おお! 知ってるね。じゃ、そこにも北海道って書いてください。

小学校の既習事項だが、理解を確認する。

経験から興味をひきつける

②岩手県の地形について

T: 岩手県の地図をみてください。どこか行ったことがあるかな?

S: 宮古、小岩井農場、安比スキー場、岩手山、うーん、それから平泉と花巻かな

T: じゃ、この地図で、盛岡と宮古はどこかな?

S: えーと、こことここ。

T: そうそう、じゃ岩手山は?

S: いわてさん? えーとここかな?

T: そうだね。岩手県って広いでしょ。日本で一番広い県だって、知ってる?

S: え? 北海道のほうが広いよ。

T: 北海道は県じゃなくて道でしょ。

S: あ、そっか。

T: 日本は中国よりずっと小さい国だけど、地方によっていろいろ特徴があるんだよ。

今日は、まず、王君の住んでいる岩手県についてもっといろいろ調べましょう。

S: はい。

T: 調べる方法はいろいろあるけど、今日は地図と資料を読んで調べます。

じゃ、まず、この文を読んでください。(岩手県資料1より抜粋部分)

岩手県の内陸部の大部分は山岳丘陵地帯で占められ、西側には秋田県との県境に奥羽山脈があり、これと平行して東部には北上高地が広がっています。そして、この二つの山系の間を北上川が南に流れ、その流域に平野が広がっています。

沿岸部は、宮古市より北では、典型的な隆起海岸で、海食崖や海岸段丘が発達しています。特に200mの切り立った断崖が8kmに渡って連なっている田野畑村の北山崎は、圧巻の一言です。一方、宮古市より南側は陸地の沈降によってできた海岸で、日本における代表的なリアス式海岸で、対照的な景観をみせ、久慈市以南の海岸線は陸中海岸国立公園に指定されています。また、その沖合いは世界有数の三陸漁場となっており、優れた漁港・港湾にも恵まれています。

T: 読み方がわからない言葉はないですか。

S: これは? (山岳丘陵地帯)

読む能力が十分ではないために知識が取得できないことがあるので、意味を丁寧に確認する。

T: さんがく、山のことね。きゅうりょう、これは丘。少し高くなっている土地。

ちたい、は?

S: 場所のこと。

(このように、読めない言葉、意味のわからない言葉を確認していく)

T: じゃ、最初の段落の部分を見るよ。

S: 段落って?

T: こうやって文字がひとつ下がっているところから、ひとかたまりの部分を段落っていうんだよ。この文章に段落はいくつある?

S: 2つ。

T: はい。じゃ、一つ目の段落について。この段落には何について説明されていますか。

S: え〜と、大部分は山、ということです。

T: うん、どこに山があるの?

S: う〜んと、岩手県の内陸部は。

T: そうそう。この「は」(助詞)の前を見ると、何について説明しているかわかるね。
内陸部って、どのあたりかな?

S: ここ? (地図を示させる)

T: うん、そうだね。岩手県を縦に半分にすると、西のほう、山のほうだね。
どんな山がありますか。

S: 奥羽山脈。それから、北上高地。

T: 山脈と高地の違いは?

S: え〜と、山脈の方が大きい。

T: うん。山脈の方が長くつながっているね。地図のどの辺かな?

S: ここが奥羽山脈、こっちが北上高地。

T: はい。じゃ、ほかには何が説明されていますか。

S: 真ん中を北上川が流れています。平野があります。

T: うん。つまり、奥羽山脈と北上高地の間は山じゃないんだね。川も流れています。
地図のどこ？

S: ここ。

T: そう。高くない場所だから、人が住みやすいね。ほら、盛岡、花巻、北上、一関と
いうところは、岩手県の中では人が大勢住んでいるところだよ。

さて、次は2つ目の段落を見てみよう。

(第2段落も同様に質問しながら理解を深める)

宿題やクイズ、テストなどで記憶を保持する努力を続けるよう励ます。

③理解を確認する

T: じゃあ、この資料を見ながら、岩手県についてわかったことをまとめてみよう。
ここは？

S: 奥羽山脈。 (ワークシート2の白地図部分に書き込んでいく)

T: はい、じゃ、北上高地、北上川、三陸海岸…資料で読んだ場所を書き込みましょう。
次に、場所の名前じゃなくて、わかったことをまとめていきます。(ワークシート2)
まず、ここ。岩手県の県庁所在地は？

S: 県庁所在地ってなに？

T: 県の役所がある場所だよ。漢字、見てごらん。

県庁って県の役所のこと。所在地は、ある場所という意味だよな。
一番大きな町だね。

S: ああ、盛岡だ。

(このようにワークシートに書き込みながら、特徴をまとめる)

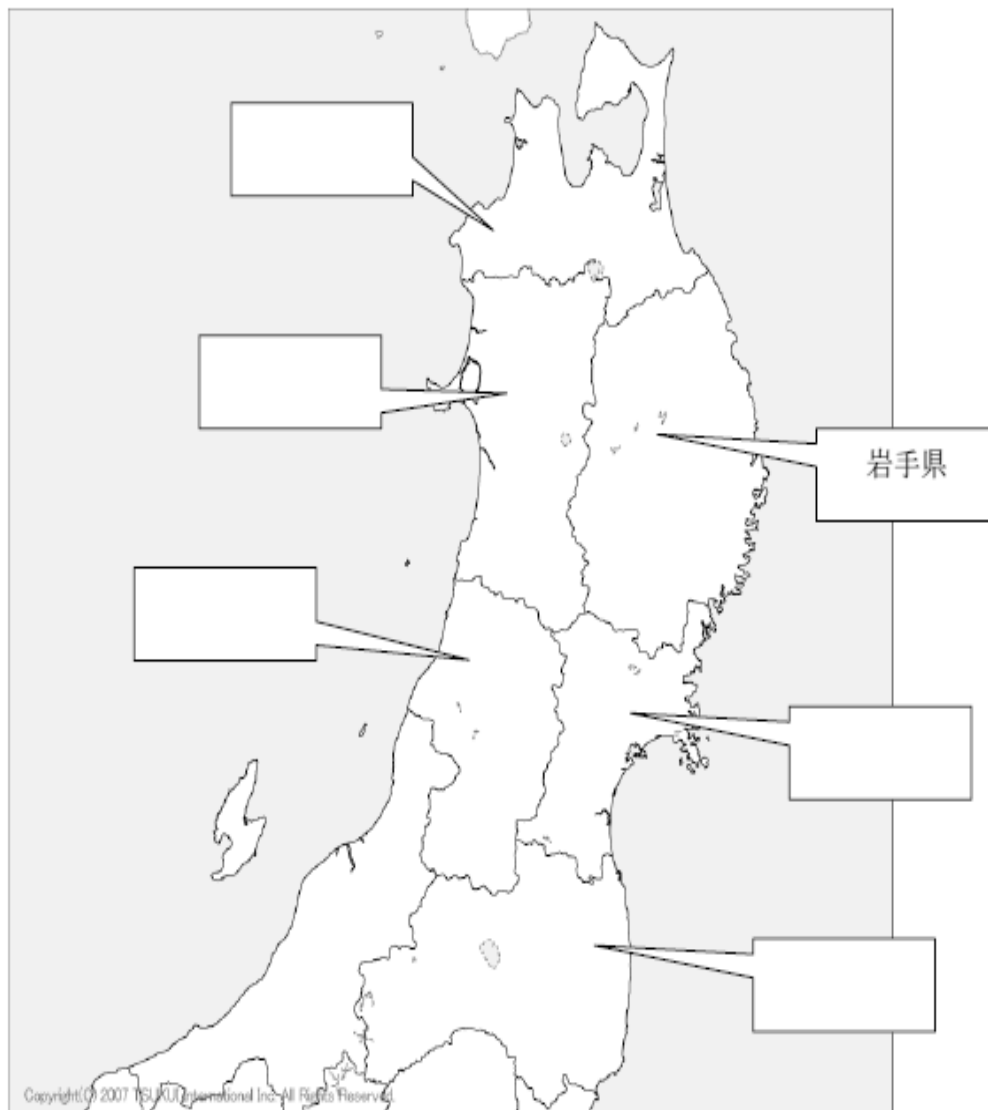
T: はい。今日は岩手県について勉強しました。新しい言葉がたくさん出てきたでしょ。
大切な言葉だから、よく覚えておいてね。後でテストするよ。

S: ええ～！やだよ。

T: 大丈夫。今日、よく覚えたから、心配ないよ。家でもう一度地図と資料を見ておい
てね。

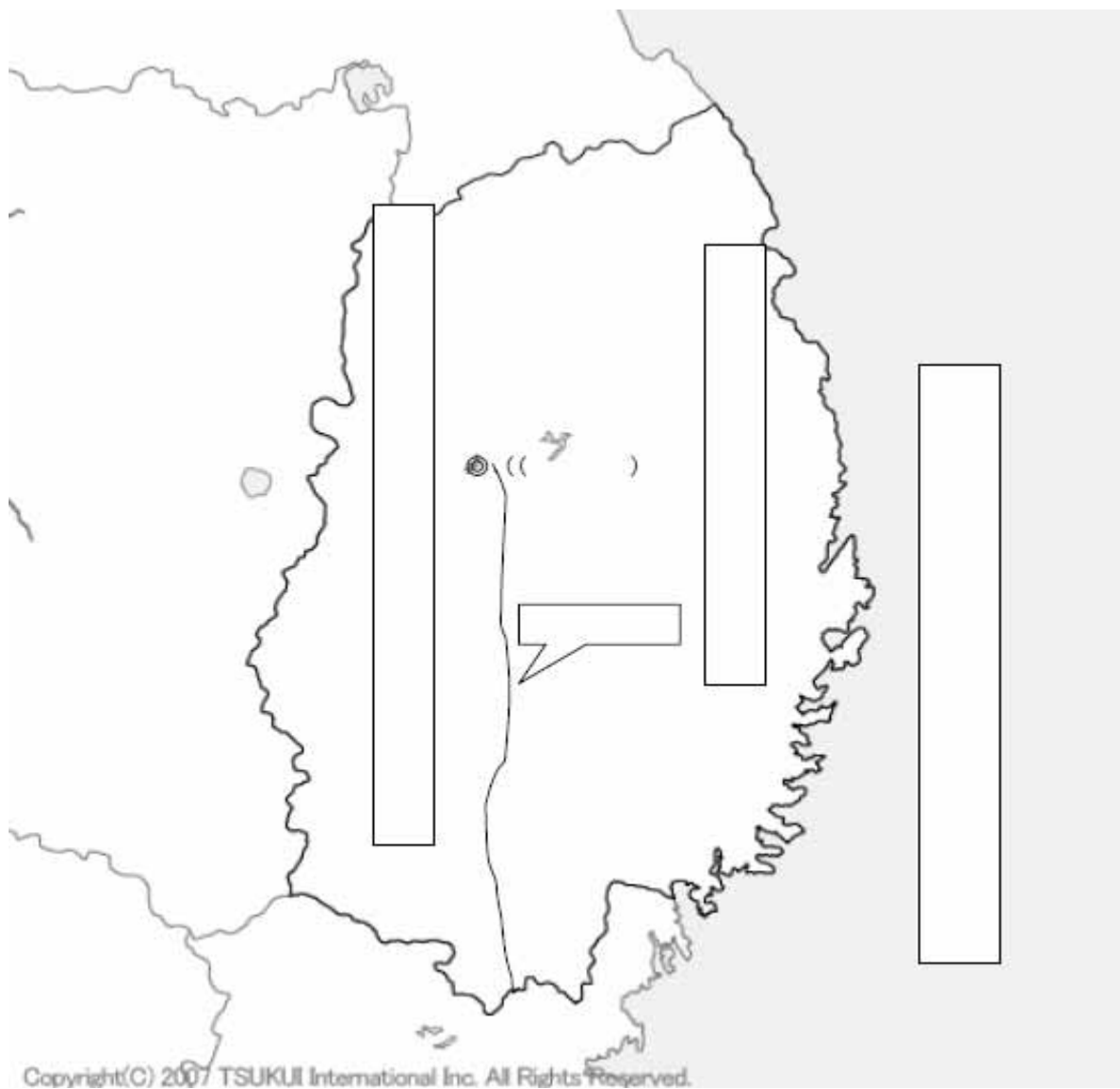
<ワークシート1> 東北地図

*東北の県名を書いてみよう。



<ワークシート2 岩手白地図>

* 岩手の地形の特徴をつかもう



<教科学習を支援するための指導案 その2 英語>

科 目	英 語
学習内容	単語を覚える 自己紹介 (be 動詞構文の理解)
目 標	・ アルファベット表記に慣れる ・ 一文字一音ずつ覚えようとする習慣を変え、単語をかたまりで認識する ・ 自己紹介の会話に使う構文を理解し、名前を名乗れるようになる
時 間	45 分
タイプ	知識習得型
準 備	単語カード (I, You, He, She, am, is, are, 名前) 教科書 (New Holizon1:単語・Unit 1 ようこそグリーン先生)
使用語彙	ball car desk house moon notebook question soccer train soccer window box I am ○○. Are you ○○? / Yes I am. / No, I'm not. Good morning. Nice to meet you.
活動の流れ	1) 絵カードを使って単語確認 2) 自己紹介の表現 (be 動詞文の肯定形、否定形、疑問形を使って名前を知る)
留意点	・ 英語に拒否反応があるときは、ゲーム、クイズなどを多用し、楽しく学ぶ。 ・ アルファベットの表記がまだ不完全なときは、クイズ形式の宿題を毎回出すなどして、アルファベットを書くこと読むことに慣れさせる。 ・ 単語ははじめのうちは正確に書けなくても、判別できればよしとする。 ・

<授業の実況中継例>

① 絵カード（ワークシート3）を使って単語確認

T: これ、何ですか？

S: わかりません。

T: じゃ、どれか知ってるの、ある？

S: ええと、これ。ピアノ。

T: うん、piano。じゃ、ほかのも発音、聞いてみようか。

S: はい。（音声を聞きながら、10～20の単語を確認する。たとえば、太字単語）

T: じゃ、今度は一緒に言ってみよう。

S: ball…、desk…、

T: じゃ、今度は私が英語で言うから、この絵カードを取ってください。

S: カルタみたい。

T: そうそう。英語のカルタ。（カルタとりの要領で単語の確認をする）

T: うん、いいね。じゃあ、今度は絵カードの裏を見てください。

（スペルが書かれている）

S: あ、これ、わかんない。

T: そうか。でも、今日はちょっとがんばってみよう。

S: はい。

T: これは ball。

S: ball ball …

T: スペルを見てね。

S: ビーエーエルエル？

T: ひとつひとつアルファベットを追いかけて、かたまりで覚えてごらん。

S: はい。

T: じゃ、次。

（単語のスペルを見せてほしいの塊として捉えられるようにする）

T: じゃあ、今度はさっきのカルタとりをこれでやってみよう。

（裏のスペルを見せる）

S: ええ？！難しい！

T: うん、がんばれ！いくよ。ball。

（何度か繰り返して、正答率を上げていく）

②自己紹介の表現

T: 英語で「私」ってなんていうか知ってますか？

S: ?

T: I。

S: アイ。

T: そう。じゃ、あなたは？

S: ユウ。

T: そうそう。じゃ、英語で自己紹介してください。

S: ええ？できないよ。

T: 簡単だよ。I am ○○。やってごらん。

S: I am Wang Wei.

T: そう！Good! Are you Wang Wei?

S: え？

T: あなたは王唯さんですか？

S: You are ○○？

T: いいえ。英語では、こことここが反対になるんだよ？

S: え？っていうと、Are you ○○？なの？

T: そうそう。

S: へえ。じゃ、返事は？

T: Yes, I am.

S: Yes. I am. わかった。

T: じゃ、もう一度。Are you Wang Wei?

S: Yes. I am.

T: Good!

S: じゃ、ちがうときは、なんていうの？

T: 「はい」のときは、Yes。「いいえ」のときは？

Yes の反対はなんていうのかな。

S: No?

T: そうそう。王唯じゃありませんは、なんていうかな？

S: I am Wang Wei じゃないから・・・ええと・・・？

T: にほんごは、「○○です」が「○○じゃありません」になるから、

この am のうしろに not をつけると、「～じゃありません」という意味になります。

S; ああ、そうか。

T

③ゲーム「I am Ichiro」

T: この人はだれかな? (知っている人の男女それぞれの写真を用意)

S: イチロー?

T: そうだね。イチローです。かれはイチローです。

S: うーん Ichiro.

T: I am Ichiro.

S: I am Ichiro.

T: そうそう

S: じゃ、女の人は?

T: これはだれ?

S: フィギアスケートの真央ちゃん?

T: じゃ、ここに写真がたくさんあります。

じゃ、この中から5枚、好きなものを選んでください。

でも、私に見せちゃだめだよ。

S: うん。選んだよ。

T: 次に、ここにヒントシートがあります。日本語だから大丈夫だよな?

たとえば、ヒント1には、「私は野球選手です。私はアメリカに住んでいます。わたしはたくさんヒットを打ちます」と書いてあるよ。誰のこと?

S: イチロー!

T: そうそう、私はこのヒントカードを読んで、あ、王君はイチローの写真を
持ってるだろうな、と考えます。そして、王君に質問します。

Are you Ichiro?

もし、王君がイチローの写真を持っていたら、

Yes, I am.

と、答えてください。そして、その写真は私のもの。

もし、イチローの写真を持ってなかったら、

S: No, I'm not!

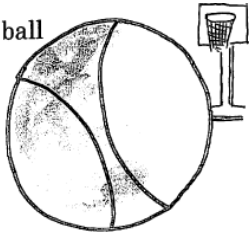
T: そうそう! だから、私は写真をもらえない。わかった?

交代で、5回勝負します。たくさん写真を相手からもらったほうが勝ちだよ。

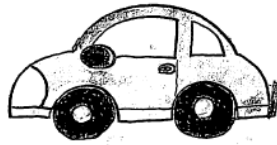
(いろいろな有名人や漫画のキャラクターなどで写真カードとヒントカードを使って練習する)

<ワークシート3 ABC>

ball



car



desk



house



moon



yellow



notebook



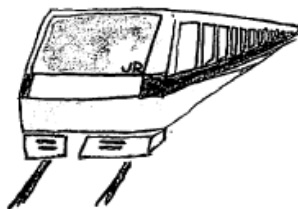
question



soccer



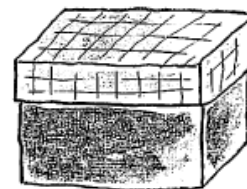
train



window



box



ケース5: ブラジル人中学生教科指導例

県外のブラジル人小学校に6年生のとき転入し卒業、ブラジル人中学に進学し、その後、岩手の中学校に転入してきました。日本語の会話はだいたい理解できますが、小学校1年生程度の漢字が混ざった文章が読み書きできる程度です。ポルトガル語の知識を生かして初歩的な学習言語を学習する方法を提示します。

<プロフィール>

名 前	千葉マリア（13歳 女子 中学2年＝学齢相当在籍）			
出 身	ブラジル；日系人（ポルトガル語）			
滞 在	1年2ヶ月			
居住地域	県南日系人集住地域			
性格・学力等	母国での成績は中位だが、日本では成績が振るわない。 英語は得意。理科は苦手。比較のおとなしい性格。			
日本語力	日常会話には不自由せず、簡単な授業の聞き取りができる。ただし、仮名とごく簡単な漢字の読み書きしかできず、教科書を読んだり、授業中にノートをとったり、宿題をこなすことは難しい。			
	読む	書く	聞く	話す
	1	1	2	2
支 援 者	（学校内）各教科担任 日本語指導講師 （学校外）日本語支援者 学生			

<編入学前対応>

対応部署	内容
市町村役場	外国人登録の際に、教育委員会に連絡。 通訳の手配
市町村教育委員会	就学手続きおよび教科書等手配 通訳、日本語および教科支援者手配（人材バンク）
受け入れ学校	【編入時】 指導カリキュラムの作成 学校内での支援体制確立 外部支援者との支援協力体制の確認
	【編入後】 日本語指導員による週1回程度の週末および長期休暇中の日本語学習、教科学習支援。各教科担任による特別課題。国語、社会などの時間の自習または日本語支援者による取り出し指導。

＜初期段階の指導例＞

時期	内容	素材・科目等	担当・場所
0-2 週間程度	◎学校生活を知る (あいさつ、学校の様子、学校のスケジュール、規則)	にほんごでまなぼう 1 (オンライン教材)	学校取り出し
	◎クラスになじむ (朝の会、給食、体育、音楽、掃除など)	対訳付語彙リスト	元学級
	◎文字を学ぼう	ひらがなカタカナ練習帳 『かんじだいすき』	取り出し 放課後、週末
	◎ 基本的な会話・文型を身につけよう	『Japanese for Young People』	
3 週間以降	◎ 漢字をまなぼう	『漢字を覚えよう』	取り出し
	◎ 教科の勉強をはじめよう	JSL カリキュラム教科別 対訳教材(社会、理科など) ブラジルの教材	家庭学習 取り出し 家庭学習

＜各教科の基本的な進め方＞

教科	内容	教材等
数 学	小学校から中学校の計算問題を進める。 文章題は小学校レベルのものを、やさしい日本語で説明しながら、理解力を確認する。	JSL カリキュラム
英 語	英語を使って英語力のチェックをする 中学 1 年生の教科書から復習(ただし、簡単な日本語での説明が必要) できるだけ、英語で英語を学習する。	JSL カリキュラム
理 科	JSL カリキュラムなどを使って説明しながら 用語を覚える(語彙訳、辞書) ドリルや問題集などで小学校レベルから復習	JSL カリキュラム
社 会	同 上	JSL カリキュラム
国 語	JSL カリキュラム等を使って説明しながら用語を覚える。読み書きに慣れる。 漢字、作文は日本語学習として継続する。	JSL カリキュラム

- ・高校受験に向け、得意科目を伸ばすことを優先させる。
- ・ポルトガル語の翻訳版、解説などがあれば積極的に活用し、母語で獲得した知識、理解力を生かす。

＜教科学習を支援するための指導案 その1 理科＞

1. 理科

科 目	生 物
学習内容	顕微鏡の機能と使い方
目 標	・ 顕微鏡の機能と各部位の名称を知る ・ 顕微鏡を実際に使って、いろいろな植物の組織を観察できるようになる ・ 授業でよく使う日本語を理解する
時 間	45 分
タイプ	知識、スキル補完型
準 備	顕微鏡、顕微鏡ワークシート、理科の教科書（顕微鏡の使い方説明） 植物の葉（顕微鏡で組織を見る）、語彙リスト
使用語彙	顕微鏡 接眼レンズ 対物レンズ プレパラート 葉っぱ
活動の流れ	1) 顕微鏡の機能と名称 2) 顕微鏡の使い方 3) ワークシートで確認する
留意点	・ 読み書きが苦手なので、書く作業は最後にもってくると負担が少なくなる。 ・ 口頭表現も学習言語は不十分なので、意味や概念を簡易な日本語で確かめながら、用語を定義する作業を繰り返すとよい。 ・ 書く作業は宿題にして、自宅で学習する習慣づけに役立てる。ただし、一緒に学習するときにも少し書く練習を取り入れて、抵抗感をなくすよう工夫する。

<実況中継例>

①顕微鏡の機能と名称

T: これは何ですか?

S: 日本語、わかりません。

T: これは「けんびきょう」です。顕微鏡で何をしますか?

S: え〜と、小さいものを見ます。

T: そうそう。(顕微鏡で細胞などの拡大写真を見せる)

じゃ、顕微鏡の使い方を覚えましょう。いろいろな部品があります。

S: そうですね。

T: ここは見るところね。名前は接眼レンズです。(「接眼レンズ」のルビ付単語カード提示)

この漢字は「接する」、近づけるとかくっつけるという意味ですね。それから「眼」は目のこと。つまり、目をつけて、見るところという意味ですね。で、レンズはものを大きく見せるガラスですよ。

S: なるほど。

T: ところで、レンズは顕微鏡のほかにも使われていますよね。たとえば、どこにある?

S: え〜と、めがね。

T: そうそう。あれもレンズですね。

S: それから、こんな形の道具で…

T: そうそう、虫眼鏡。

S: 虫眼鏡。

T: じゃ、こちらを見てください。ここにもレンズがあります。これは対物レンズとい
います。(「対物レンズ」のルビ付単語カード提示)

対物の「物」はもののことね。それから、「対」の字は見る相手のことです。

つまり、対物レンズというのは顕微鏡で見るものの近くにあるレンズですね。

接眼レンズは目の近く、対物レンズは見るものの近くにあるんですね。

S: はい。(…と、この調子で部品の説明を続け、ワークシートに書き込んでいく)

単語カードには読み
仮名とポルトガル語
があるとなおよい

②顕微鏡の使い方

T: じゃ、顕微鏡を使いましょう。どうやって使いますか?

S: 接眼レンズでここ(プレパラートの部分)を見ます。

T: そうだね。じゃ、見てごらん。

S: よく見えない…

T: じゃ、どうする?

S: え〜と、ここを回して…、あつ、ちょっと見えた。

T: そうそう。

(実際に調整させながら説明する)

実際に使いながら説
明を受けることで概
念と言語が無図美つ
けられやすくなる

T: じゃあ、ここに顕微鏡を見るための準備の写真がばらばらにあるから、順番にならべてください。

S: はい。・・・・・・できました。

T: はい。いいですね。

顕微鏡は壊れやすいです。

たとえば、対物レンズとプレパラートがぶつかると…？

S: プレパラートが壊れます。

T: そうですね。レンズも壊れるかもしれません。

プレパラートやレンズが壊れると、危ないですね。手をけがするかもしれません。

S: はい。こわいです。

T: そう。だから、気をつけてください。

それから、レンズを太陽にむけてはいけません。

S: たいよう？

T: そう。Sol. レンズですから、目をけがしますよ。

S: ああ、はい。危ないです。

T: 使い方を間違えないでください。

S: はい。

顕微鏡操作の必要性、
危険性なども理解させる。

③ワークシートで確認

T: ここに顕微鏡の図があります。さっき、勉強したことをもう一度思い出して、まず、単語カードを当てはめてください。

S: はい。え〜と、プレパラートはこれ…、対物レンズはこれ…、できました。

T: はい、いいですね。

今度はちょっと大変だけど、自分で書き込んでください。

S: 漢字が難しいです。

T: うん。ゆっくりでいいよ。

少しずつ覚えましょう。

<ワークシート 顕微鏡の部分の名前>

A

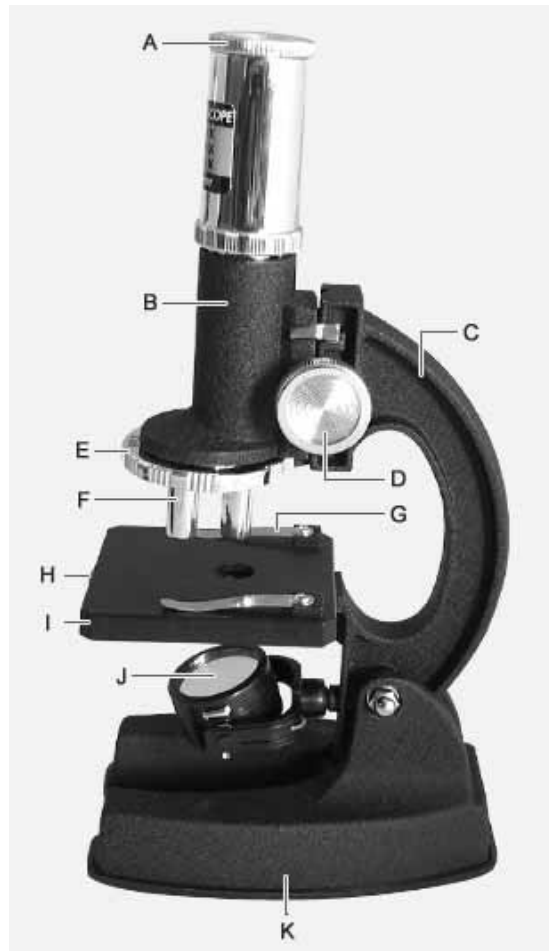
B

E

F

H

I



C

D

G

J

K

＜教科学習を支援するための指導案 その２ 英語＞

科 目	英語
学習内容	長文読解
目 標	教科書の長文を理解し、内容について英語と日本語で説明できるようになる 内容と関連のある事柄について、英語と日本語で話せるようになる
時 間	45 分
準 備	教科書 NEW HORIZON（中２）LET'S READ1(pp.32～36)
使用語彙	教科書中の英語語彙 教科書にある日本語の指示文 ・本文を読んで、次の文が内容とあっていれば○を、違っていれば×を書き入れましょう。 ・本文を読んで、次の問いに英語で答えましょう。
活動の流れ	1) 読解作業と概要確認 2) 授業やテストで使われる日本語の理解と内容確認 3) 自分の考えを表現する
留意点	・日本語より英語のほうが流暢で理解力も高いので、英語で英語を学習するよう工夫をする。 ・入学試験対策のために、日本語訳や日本語での授業用語、テスト用語を理解できるような活動を取り入れる。 ・英語と日本語を併用することによって、混乱しないように注意する。

＜実況中継例＞

① 会話文を読み、理解力を確認

(LET'S READ1 [MAGIC BOX]を黙読させる)

T: 読みましたか。

S: はい。

T: じゃ、まず、誰が出てきたか英語で説明してください。

S: 英語でいいの? OK, A man, his wife, old woman, um... ah, a king, and 3 ministers.

(話の内容について日本語で質問し、英語で答える作業を進める)

教科書のないよう理解の確認は英語によって行う

② 内容に関する質問

T: じゃ、今度は教科書にある質問を使って、勉強します。

36 ページのAを見て、この質問を読んでください。

S: はい。え〜と、漢字がわからないです。

T: どれ?

S: ここ

T: それは本文(ほんぶん)。質問の文じゃなくて、今、読んだ会話の文章のことです。

S: はい、わかりました。それから…

(漢字の読み方や意味の分からないところを確認する)

T: じゃ、もう一度声を出して読んでください。

S: はい。本文を読んで、次の文が内容とあっていれば○を、違っていれば×を()
に書き入れましょう。

T: ○は正しいです。つまり、本文と同じことが書いてある、という意味ですね。

反対に×は本文に書いてあることと、違うという意味です。

じゃ、この文をひとつずつ読んでください。そして、○、×を書いてください。

(答えあわせをする)

じゃ、Bの問題も考えましょう。問題を読んでください。

S: 本文を読んでつぎの…何?

T: 問(とい) Question です。

S: はい。つぎのといにえいごで…

T: 答えましょう。

S: ああ、はい。えいごで答えましょう。

T: 英語で答えてくださいね。No.1

(口頭で英語で答えさせ、その後、ノートなどに書かせて正確さを確認する)

日本語の指示文のいくつかのパターンを示し、授業で何が問われているのか理解させる。英語がわからないのではなく、日本語がわからないため躓く可能性があることに注意。

③ 自分の考えを表現する

T : ところで、magic box からはじめに何が出てきましたか。

S : 晩ごはんです。

T : どんな晩ごはん？

S : Big dinner ! ええと、大きい晩ごはんです。

T : 大きい晩ごはんって、たとえばどんな晩ごはん？

S : ステーキ・・・寿司・・・かな？高いごはんです。う～ん、ごはんがいっぱい、かな？

T : 豪華な晩ごはん？

S : そうそう。豪華です！高くておいしいごはん。

T : じゃ、次に出てきたものは？

S : ワイン。

T : じゃあ、最後に出てきたものは何ですか。

S : んー。

T : 英語でもいいよ。

S : something to help people.

T : たとえば？

S : う～ん、お金？

T : なるほど。お金がたくさんあるといいですね。

じゃあ、マリアさんがもし、Magic Box をもらったら、何を願いますか。

できるだけたくさん英語で話してね。

S : Uhhhhmmm...

(英語で希望を話させ、最後に書かせて正確さを確認する)

英文の内容理解に問題がなさそうな場合、このトピックについて英語でも日本語で話すよう促す。そのことによって、ひとつの言語でまとめた話をする力を伸ばす。ただし、両言語がまざって混乱させないように注意する。

ケース6： 中国人中学生受験期初期教科指導例

岩手の中学校に編入後、2ヶ月が過ぎ、日本語はごく基礎的なことを聞いて少し理解できるようになりましたが、読み書きはひらがな、カタカナがやっとできる程度の中国人生徒です。しかし、漢字語彙を使って教科学習の内容を理解することがある程度可能です。日本語初期指導と並行した教科学習の支援方法を提示します。

<プロフィール>

名 前	李麗華 (14 歳 女子：中学2年＝受験に向けて1学年下に在籍)			
出 身	中国黒龍江省（中国語）			
滞 在	2 ヶ月			
居住地域	県北散在地域			
性格・学力等	理数系科目が得意。母国での成績は良好。 温厚な性格。			
日本語力	漢字語彙に頼って、わずかに読み書きができるが、日本語初期指導が必要。			
	読む	書く	聞く	話す
	1	1	1	1
支 援 者	(学校内) 副校長、担任 (学校外) 退職教員、中国語話者			

<編入前対応>

対応部署	内容
市町村役場	登録段階で教育委員会に連絡 通訳の手配
市町村教育委員会	就学案内を保護者と本人に渡し、転入学手続きと就学体制整備 通訳、退職教員等指導支援者の手配、人材バンク
受け入れ学校	【編入前】三者面談 (子どもの情報収集と学校情報提供。できれば、通訳を介す。) 入学手続き、教科書等の手配 日本語初期指導担当者の選定、カリキュラム作成
	【編入後】退職教員による取り出しおよび週末個別日本語指導。元学級 でできるだけ授業に参加するようにクラスメートや担任が支援。

＜初期指導＞

時期	内 容	素材・科目等	担 当
0・2 週間程度	◎学校生活を知る (あいさつ、学校の様子、学校のスケジュール、規則) ◎クラスになじむ ◎文字を学ぼう	にほんごでまなぼう 1 (オンライン教材) 朝の会、給食、体育、 音楽、掃除など カード 『ひろこさんのにほんご』、 ひらがなカタカナ練習帳	学校関係者 担任、 クラスメート 学校関係者 (教頭など) 外部支援
3ー8 週間程度	◎ 基本的な会話・文型を身につけよう ◎ 漢字をまなぼう(簡体字から日本漢字 への転換) ◎ 教科の勉強をはじめよう	『日本語学級 2』 『絵でつづる日本語文例集』 『かんじだいすき』 『中国語話者の漢字』 『漢字を覚えよう』 『日本語学級 3 足し算・引き 算日本語クリアー』 JSL カリキュラム教科別 対訳教材(社会、理科など) 中国の教材	学校関係者 担任指導 学校関係者 外部支援 担任指導

＜各教科の基本的な進め方＞

教科	内容	教材等
数 学	小学校レベルの計算力から徐々に確認する。 文章題は小学校レベルのものから理解力を確認し、よく使う表現 の意味・使い方を中国語の語彙表などを活用して覚える。	JSL カリキュラム
英 語	英語で英語の理解力を確認し、学習を進める。 辞書などを活用して教科書の日本語表現にも徐々に慣れさせる。	JSL カリキュラム 中国語翻訳教材
理 科	JSL カリキュラムを使って、中国語を介して少しずつ用語を覚える	JSL カリキュラム
社 会	同 上	JSL カリキュラム 中国語翻訳教材
国 語	日本語の初期学習を優先させる 漢字学習は簡体字から日本語漢字表記への転換を進める。音読み、 訓読みの違いについても少しずつ理解させる。	JSL カリキュラム

- ・入試まで 2 年弱なので、得意分野は伸ばし、不得意分野は捨てる覚悟で、できるだけ早期に受験対策をはじめ。
- ・中国語の翻訳版、解説などがあれば積極的に活用し、母語での知識、理解力を生かす。

<教科学習を支援するための指導案>

科 目	数学
学習内容	図形（二等辺三角形）
目 標	・ 図形の名称を日本語で理解する ・ 二等辺三角形の学習に必要な日本語を理解する。 ・ 三角形についての知識を確認する
時 間	45 分
準 備	図形プリント 定規 分度器 はさみ 語彙リスト（中国語対訳）
使用語彙	三角形 四角形 二等辺三角形 辺 頂点 角 ～度 証明する 等しい
活動の流れ	1) 図形の名称 2) 図形の違い 3) 図形のことば 4) 二等辺三角形の特徴 5) 二等辺三角形の証明 6) 比較の表現 7) 証明問題を解く
留意点	・ 母国での学習のほうが日本のものより進んでいるため、学力を落とさないように母語による学習もできるだけ進めるよう促す。 ・ 持っている知識を日本語で整理できるように、段階的に学習を進める。

<実況中継例>

①図形の名称

T: (△を指差して) これは何といいますか? (□も同様)

S: 日本語でわかりません。

T: 三角形です。

S: 三角形。

T: これは、四角形です。

S: 四角形。

読み仮名付きの語彙カードを準備し、学習した語彙を視覚でも確認させると日本語と中国語の読み方の違いを認識しやすい

②三角形と四角形の区別 (様々な形の三角形・四角形)

T: ここに三角形と四角形がたくさんありますね。

(さまざまな種類の三角形や四角形が並んだ図を提示する)

S: はい。

T: 三角形はどれですか?

S: これと、これ…それから、これもです。

T: そうですね。じゃ、四角形は?

(三角形、四角形を認識しているか確認する)

③ 図形用語 (辺・頂点など)

T: ここを「辺」といいます。三角形に辺はいくつありますか?

S: 1つ・・・2つ・・・3つあります。

T: そうですね。それから、ここは「頂点」といいます。

三角形に頂点はいくつありますか?

S: 3つあります。

T: うん。そして、ここは「角」といいます。

三角形に角はいくつありますか?

S: 3つです。

T: そうですね。だから、三角の形、三角形です。

じゃ、四角形に角はいくつありますか?

S: 4つです。だから、四角形。

用語をひとつずつ確認しながら理解させる。語彙は中国語とのずれが少ないので日本語の読み方を覚えるようながす。

④ 二等辺三角形の特徴を知る。

T: じゃ、この三角形を見てください。この辺の長さは何センチですか。

S: (定規を使って) ~センチです。

T: じゃ、ほかの2つの辺も測ってください。

S: はい。~センチと~センチです。

T: はい。この辺とこの辺は長さが同じですね。でも、この辺は長さが違います。

じゃ、次に角の角度を測ります。3つの角を測ってください。

S: はい。(分度器を使って) ~度、~度、~度です……。

(図にあるすべての三角形の辺の長さや角度を測る)

T: 2つの辺の長さが同じ三角形は、どの三角形ですか？

S: これです。

T: そうです。これが二等辺三角形です。

S: 二等辺三角形。(中文: 等腰三角形のカードを見せてもよい)

T: そう。2つの辺が等しい、つまり同じ三角形ですね。

S: はい、わかります。

⑤二等辺三角形の証明

T: この三角形は？

S: 二等辺三角形です。

T: ほんと？

S: はい。

T: どうやってわかりますか？

S: 定規で測ります…

T: うん。でも、定規を使わないで、考えましょう。

S: はい。

T: まず、真ん中に線を書きます。そして、2つの三角形にします。

S: 真ん中？ (中文: 正中のカードを見せてもよい)

T: はい、ここね。こんなふうに。

S: あ、はい。

T: そして、3つの頂点に名前をつけましょう。

ここがA、ここがB、ここがC、ね。

それから、ここはDにしましょう。

S: はい。

T: じゃ、この三角形はどこどこの辺の長さが同じですか？

S: ええと、こことここ。

T: そうそう。辺ACと辺ABですね。

S: はい。

T: じゃあ、この三角形とこの三角形は同じですか。

S: はい。

T: ほんと？どこが同じ？

S: ええと、ACとABは同じです。それから、ADは同じです。

証明問題の考え方を順番に少しずつ提示し、理解を確認する。実際の図形で確認しながら行くと、認識しやすい。

T: そうだね。AD は一緒だね。じゃ、角はどうですか？

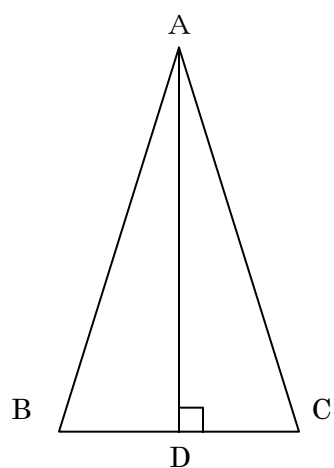
S: え、同じです。

T: そう？じゃあ、見てみましょう。この角の名前は角 ADB、こっちは角 ADC ね。

S: はい。

(証明の手順をひとつひとつ言語化して確認させる)

⑥ 証明問題に挑戦



角 A の二等分線を引き、BC との交点を D とする。

$\triangle ABD$ と $\triangle ACD$ で

$\angle ADB = \angle ADC = 90^\circ$

$\angle BAD = \angle CAD$ (角 A を二等分しているから)

AD (共通)

よって一辺とその両端の角がそれぞれ等しいので

$\triangle ABD \equiv \triangle ACD$

ゆえに $AB = AC$ $\triangle ABC$ は二等辺三角形である

<編集委員>

多文化子どもの教室	むつみっこくらぶ	共同代表	高橋 史子
	〃		村井 好子
岩手大学国際交流センター		准教授	松岡 洋子

<協力>

元中華人民共和国長春外国語学校	講師	杉山 春華
ゆうの会（一関市）	代表	熱海アイ子

いわて多文化子どもの学習支援ハンドブック

2008年2月20日

編集・発行 (財)岩手県交際交流協会

印刷所 岩手ワークショップ